

Joie™

ECE R44.04: Group 0+ / 1 / 2 (0-25kg)

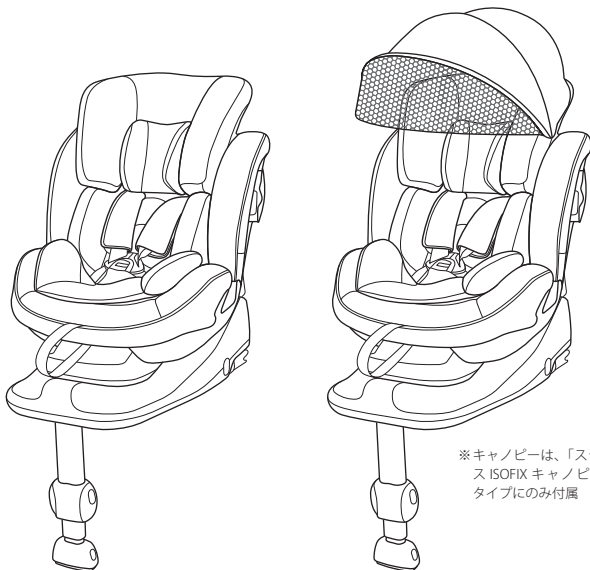
ジョイー・ISO-FIX チャイルドシート

stages™ isofix

- ・ステージス ISOFIX
- ・ステージス ISOFIX キャンプー付

child restraint

取扱説明書／保証書



※キャンピーは、「ステージ
ス ISOFIX キャンプー付」
タイプにのみ付属



ECE R44.04: A,C,D
ECE R44.04: ISOFIX

もくじ

はじめにお読みください	4
本書の保管について	4
ユーザー登録のお願い	5
チャイルドシートについて	5
使用に関するアドバイス	6
自動車との適合について	6
本製品の情報	7
表記の説明	8
危険・警告・注意の表記について	8
強調・禁止の表記について	8
その他の表記について	8
本取扱説明書で使用するイラストについて	9
内容物の確認	10
各部の名称	11
本製品の各部の名称	11
自動車に関わる各部の名称	12
使用できるお子さまの条件	13
各使用モードの説明	14
ソフトパッドの使用	16
自動車の座席への取り付けに関して	17
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	17
取り付け、使用できない座席	18
使用上の注意事項	22
緊急時の操作	36
基本的な使いかた	37
バックルの使いかた	37
バックルの外しかた	38
バックルの留めかた	38
ハーネスの長さ調節	40
ゆるめかた	41
締めかた	41
ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節	42
ソフトパッド	43
取り外し	44

取り付け	45
ヘッドサポート	46
クッション	46
ISO-FIX ベースとシェルの着脱	48
取り外しかた	48
取り付けかた	50
リクライニングの調節	51
サイドインパクトシールドの使いかた	53
キャノピーの使いかた（キャノピー付タイプのみ）	55
ISO-FIX ベースのシート（座席）への取り付けかた	58
取り外しかた	69
ベビーモードでの使いかた	72
自動車のシートへの取り付け	73
お子さまの乗せかたと調整	75
トドラーモードでの使いかた	81
自動車のシートへの取り付け	81
お子さまの乗せかたと調整	83
ジュニアモードでの使いかた	89
ハーネスの格納と取り付け	90
お子さまの乗せかたと調整	100
お手入れのしかた	108
パッド・カバー類の取り外し	109
パッド・カバー類のお手入れ	112
樹脂・金属のお手入れ	114
樹脂部分	115
金属部分	115
ISO-FIX コネクタ・ISO-FIX ベースのチャイルドシート	
マウント・シェルの取り付けバーのお手入れ	116
ハーネス・バックル・キャノピーのお手入れ	117
ハーネス	117
バックル	117
キャノピー（キャノピー付タイプのみ）	118
保管のしかた	118
廃棄のしかた	118
保証書	

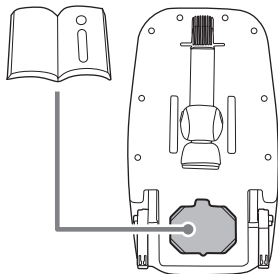
はじめにお読みください

本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。本製品は、最新の欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。

本書の保管について

あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、**本体底面の取扱説明書ホルダー**に大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



取扱説明書ホルダー

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨による**ユーザー登録へのご協力**をお願いいたしております。本製品は、日本国内で使用を認められている欧州のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しております。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、**直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。**このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いいたしております。お預かりしたお客様の個人情報は、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的にのみ利用させていただきます。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としており、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、お子さまの体重や体格に適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、本製品が動くなどして、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに、慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまにチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。
また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。
長距離を走る場合、最低でも1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。
本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

自動車との適合について

本製品は、汎用 ISO-FIX 固定バーを装備した、多くの自動車の座席に取り付けることができますが、全ての車種、座席に取り付けることができないとは限りません。
本書および自動車の取扱説明書を参照の上、取り付けが可能か確認するようにしてください。
汎用 ISO-FIX 固定バーを装備した自動車の座席に関しては、以下のホームページに記載の適合車種一覧をご確認いただくか、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。
なお、適合車種一覧は適宜更新しています。

katoji.co.jp

危険

取り付けの方法を守ること

本製品は、汎用 ISO-FIX 固定バーを装備した自動車の座席に取り付けが可能です。シートベルトのみでの取り付けや、その他の方法により本製品を取り付けることはできません。

本製品の情報

本製品は、チャイルドシートの基準、ECE-R44.04 に適合するセミユニバーサル仕様の ISO-FIX 対応チャイルドシートです。

自動車の座席の汎用 ISO-FIX 取付バーに取り付けて、サポートレッグを床面に接地して使用します。

ジュニアモード（グループ 2）で使用する場合は、ISO-FIX で本製品を自動車の座席に取り付けて ECE-R16 またはこれと同等の基準に適合した 3 点式シートベルトによってお子さまを固定します。

自動車の取扱説明書において、質量グループ、サイズ等級の合致するセミユニバーサル仕様チャイルドシートを取り付けて使用可能と指示している場合、原則として本製品が使用できますが、すべての自動車、座席に取り付けて使用できるとは限りません。

疑問がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店、お車のメーカーにお問い合わせください。

本製品が取付可能な車種、型式、座席については、適合車種一覧で確認してください。

製品の種類 チャイルドシート

主な原材料 樹脂・金属・繊維

パテント番号 特許出願中

サイズ等級 A,C,D

適 応 体 重	質量グループ	カ テ ゴ リ
体重 2.5kg から 13kg まで	0+	セミユニバーサル(準汎用)
体重 9kg から 18kg まで	1	セミユニバーサル(準汎用)
体重 15kg から 25kg まで	2	セミユニバーサル(準汎用)

ポイント！

体重 18kg までは、後ろ向きに取り付けて使用することができます。

表記の説明

本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。この表記に付随して記載されている内容を見落とすと、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また、周りにいる方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。

危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表示に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表示に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表示に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

その他の表記について

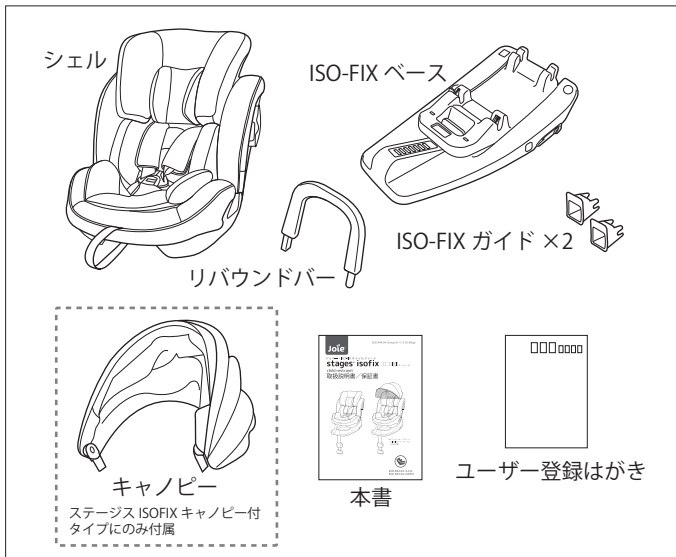
表記	表記の内容
 ポイント！	この表示に付随して記載されている事項は、本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また、本製品をより便利に使用していただくための大切な情報です。

本取扱説明書で使用するイラストについて

本取扱説明書で使用しているイラストは、より理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張、割愛等をおこなっていますので実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



⚠ 警告

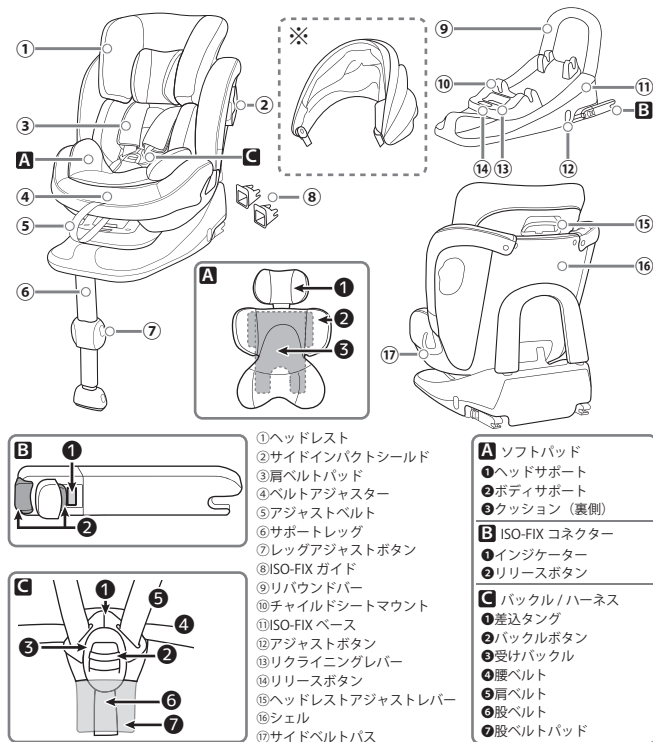
窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので、本製品を梱包しているビニール袋類は開梱後、直ちに破るなどした上で、お子さまの手の届かないところに廃棄してください。

各部の名称

本製品の各部の名称

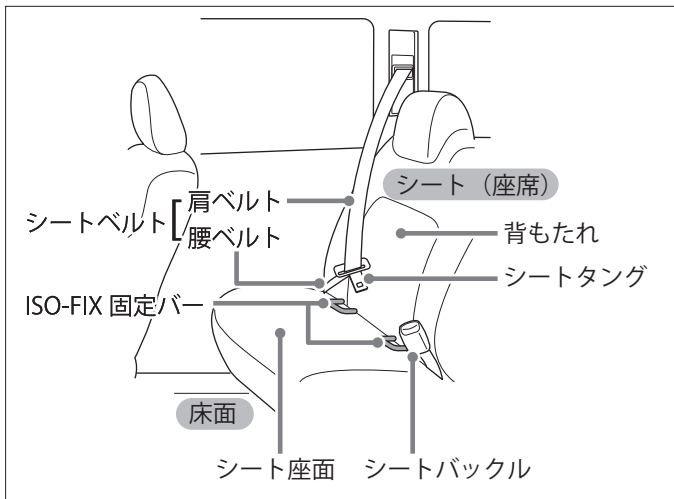
本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について、次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して、必要に応じてご確認ください。



※ キャンピー（ステージス ISOFIX キャンピー付タイプにのみ付属）

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては、本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において、自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



ポイント！

お車の取扱説明書においては、別の名称にて記載されている場合があります。必要に応じて、上図を参照し、お車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は、ECE-R44.04（ヨーロッパ統一基準）のセミユニバーサル仕様、Group 0+/1/2 に適合したチャイルドシートであり、新生児※から体重 25kg までのお子さまにご使用いただけます。

新生児※から体重 9kg までのお子さまは、必ず、本製品の座席（シェル）を自動車の進行方向に対して後ろ向きにして使用してください。本製品では、体重 18kg まで後ろ向きで使うことができます。

体重 9kg 以上のお子さまは、本製品の座席（シェル）を前向きにして使用することができます。

この範囲にあてはまらない、また、本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は、本製品を使用しないでください。

※ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

ポイント！

お子さまの体重が 9kg 以上になった場合、お子さまの体格に応じて、また、年齢を目安として使用してください。月齢の低い間は、後ろ向きでの使用をお勧めいたします。

危険

正しい向きで使うこと

本製品の適合する ECE 基準は、使用可能な期間をお子さまの体重によって規定しています。

お子さまの体重が 9kg になるまでは、前向きでは使用しないでください。また、目安となる年齢が使用可能な範囲であっても、体重が使用できる期間に満たない、またはこれを超える場合には、本製品を使用してはいけません。

各使用モードの説明

本製品は、いずれのモードにおいても自動車の座席の汎用 ISO-FIX 固定バーに固定し、レッグサポートを床面に接地させて使用します。

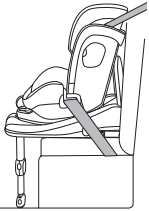
進行方向に対して前向きの自動車の座席に、各モードにより、後ろ向きまたは前向きに取り付けます。

お子さまは、本製品の乳幼児ベルトまたは自動車の座席の 3 点式シートベルトにより固定します。

ポイント！

体重 9kg までは、必ずベビーモードの状態で使用してください。体重 9kg を超えてからは、トドラーモードで使用することもできますが、体重 18kg までは可能な限りベビーモードでの使用をお勧めします。

stages isofix

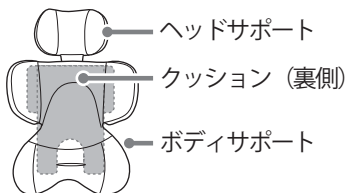
	ベビーモード	トドラーモード	ジュニアモード
			
適応体重 ※年齢の目安	18kg 未満 4 歳頃まで	9kg から 18kg まで 1 歳から 4 歳頃まで	15kg から 25kg まで 3 歳から 7 歳頃まで
取り付けの向き	後ろ向き	前向き	前向き
取り付け方法	ISO-FIX コネクタ サポートレッグ	ISO-FIX コネクタ サポートレッグ	ISO-FIX コネクタ サポートレッグ
お子さまの固定	本製品の ハーネス	本製品の ハーネス	自動車の 3 点式シートベルト
リクライニング	①～⑦ ●ただし、お子さまの首がすわる（生後 4 か月頃）までは、リクライニングを最も寝かせた状態で使用すること。	①～⑦	①～⑦
ソフトパッド P16 を参照	●生後 6 か月頃まではすべてのソフトパッドを使用すること。 ●それ以降は、お子さまの成長、体格に合わせて調節して使用してください。	使用不可	使用不可

ポイント！

年齢は目安です。目安となる年齢が使用可能な範囲であっても、体重が使用できる期間に満たない、またはこれを超える場合には、使用してはいけません。

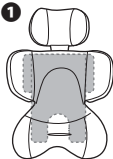
ソフトパッドの使用

より快適に、安全にご使用いただくため、本製品ではお子さまの成長や着衣の状態に合わせて着脱、調節できるソフトパッドが付属しています。下記を参照して、ソフトパッドを、取り付け、取り外し、調節してご使用ください。



▶生後 6 カ月頃まで

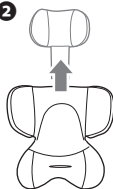
①



生後 6 カ月頃までは、ソフトパッドを全て取り付けた状態で使用してください。

▶生後 6 カ月以降

②



お子さまが成長し、頭部が窮屈な状態になったら、ヘッドサポートを取り外して使用してください。

③



お子さまの身体が窮屈な状態になったら、クッションのみの状態で使用することができます。

④



お子さまの身体が窮屈な状態になったら、クッションを取り外したボディサポートのみの状態で使用することができます。

⑤



お子さまの肩幅が広くなり、窮屈な状態になったら、すべてのソフトパッドを取り外して使用してください。

自動車の座席への取り付けに関して

取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席 取付使用不可
- ② 2 列目左右ドア側席 . . . 取付使用可能
- ③ 2 列目中央席 取付使用可能
- ④ 進行方向横向きの座席 . . 取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席 . 取付使用不可
- ⑥ 3 列目以降の座席 取付使用不可



⚠ 危険

取り付け条件を守ること

上記の座席（シート）全てに取り付け、使用可能とは限りません。
 上記は、座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。
 この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席にのみ、取
 り付けが可能です。

取り付け、使用できない座席

本製品は、全ての自動車、全ての座席（シート）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

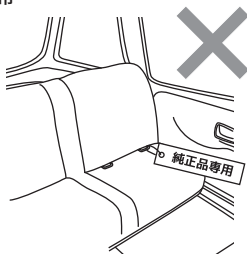
⚠ 危険

以下に示す座席（シート）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

汎用 ISO-FIX 固定バーの装備されていない座席

ISO-FIX 固定バーが装備されていても本製品が使用可能とは限りません。本製品の条件に適合する仕様の「汎用 ISO-FIX 固定バー」が装備された座席でのみ取り付け可能です。

お車の取扱説明書をご参照ください。



フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席では使用できません。



適合車種一覧で取り付け、使用不可となっている車種または座席

適合車種一覧で、取り付け不可となっている車種または特定の座席（適合車種でも、すべての座席に取り付け可能とは限りません）には取り付けできません。

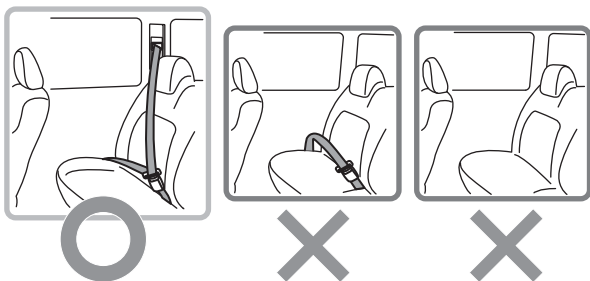
⚠ 危険

以下に示す座席（シート）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

3 点式シートベルトの装備されていない座席（ジュニアモード使用時）

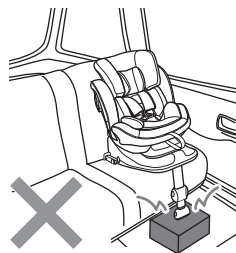
ジュニアモード（グループ 2）では、汎用 ISO-FIX 固定バーに加え、ECE R16 に適合または、これと同等の基準に適合した 3 点式シートベルトが必要です。

シートベルトのない座席、2 点式や 5 点式のシートベルトの座席では使用できません。



床面に構造物のある座席

本製品は、サポートレッグを自動車の床面に接地させて使用します。このため、床面に収納ボックスなどの構造物がある座席では使用できません。



本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

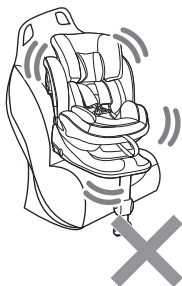
本製品を取り付けることにより、自動車の操作に影響をおよぼさない事を予め確認した上で、取り付け、使用してください。

⚠ 危険

以下に示す座席（シート）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

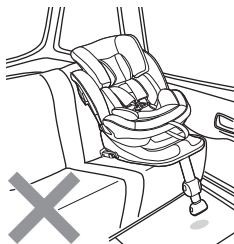
本製品を安定して設置できない座席

極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、可動操作に干渉する座席、本製品のサポートレッグが接地しない座面の高い座席、本製品のベースが浮く座面の低い座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。また、適合車種でも、限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともあります。



その他、しっかりと取り付けられない座席

本製品は、座席の形状やサイズ、角度、座席のシートベルトの長さ、シートベルトのバックルの高さや前後の位置などが影響し、本取扱説明書にしたがってもしっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、サポートレッグが接地しないなど、正常に取り付け、使用ができない座席では、使用しないでください。



助手席

助手席には、本製品を取り付けて使用しないでください。本製品は、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

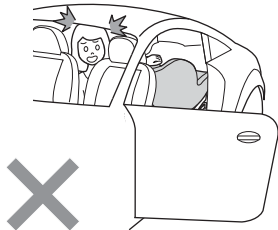
⚠ 危険

以下に示す座席（シート）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

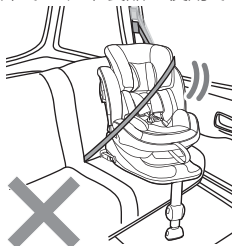
乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して、使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態で、すべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また、緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかを、あらかじめ確認してください。

**パッシブシートベルトが装備された座席**

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では、本製品を使用できません。



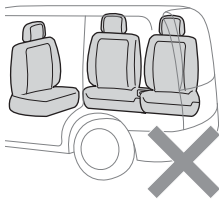
⚠ 危険

以下に示す座席（シート）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

進行方向に対して前向き以外の座席

本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ、取り付けて使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また、車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席、バス、電車、飛行機、船などの座席でも取り付けて使用できません。

**使用上の注意事項**

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。ここでは、本製品をお使いいただくにあたって、注意していただきたい重要な事柄や、「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

正しく自動車の座席に固定して使用すること

本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示、ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車の座席（シート）に固定し、使用してください。

正しく固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



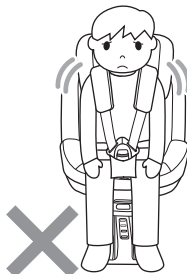
使用条件を厳守すること

本製品は、欧州のチャイルドシート基準に適合するチャイルドシートです。この基準により、使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法（後ろ向き、前向き）、モードとそれに応じた使用可能なお子さまの体重の条件が定められています。使用条件を守らないと、本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



体型が合わなくなった場合は使用しないこと

お子さまの体重が規定の範囲内でも、お子さまが成長し、本製品に正しくお子さまを乗せた際に、頭頂部がチャイルドシートから上にはみ出してしまう場合、お子さまの足が本体から極端にはみ出してしまうようになった場合、調節してもお子さまを正しく固定できない場合には、所定の安全性能を発揮できませんので使用を中止してください。



⚠ 危険

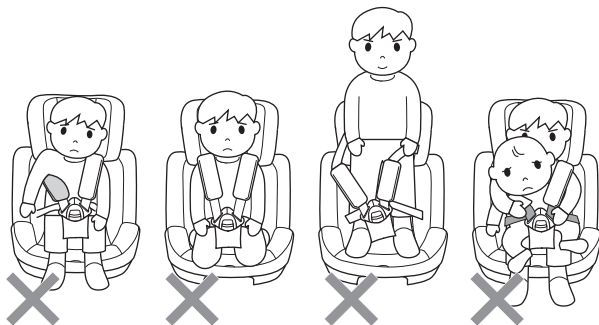
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

お子さまを正しく固定して使用すること

本取扱説明書の記載に従い、正しく調節して、正しくお子さまを固定してください。

本製品は、本製品のハーネス、または自動車の3点式シートベルトで
お子さまを固定するようになっています。お子さまの体重により、お
子さまを固定する方法が異なりますので、必ず本取扱説明書を確認し
て正しく調整して、正しい方法でしっかりと固定してください。

規定された条件に適さない方法でお子さまに使用したり、ハーネスや
シートベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、
中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけま
せん。



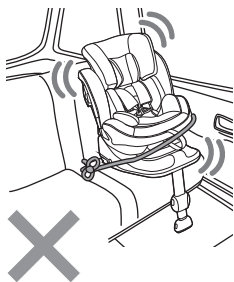
⚠ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

指定する方法以外での取り付けをしないこと

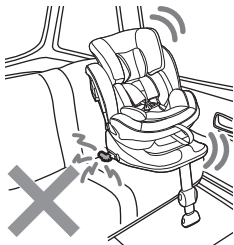
適合する車種の汎用 ISO-FIX 固定バーに取り付けて使用します。シートベルトの他、ひもや、帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなどで本製品を固定してはいけません。また、本製品を正しく取り付けた上に、これらのもので補強してもいけません。これらのものが、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

本取扱説明書の指示にない方法で取り付けないでください。



本製品の取り付けに関わる部位、部品に異常が認められる場合、絶対に使用しないこと

交通事故や急制動の際に本製品が外れ、重大な事故につながるおそれがあります。自動車の座席の汎用 ISO-FIX 固定バーや本製品の ISO-FIX コネクタ、サポートレッグに異常が認められる場合は、絶対に使用しないでください。

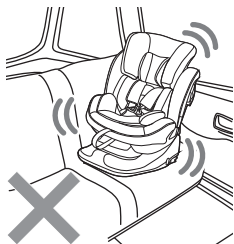


⚠ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

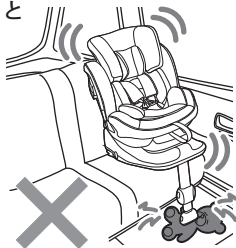
指定以外の向きで自動車のシートに取り付け、使用をしないこと

本製品は、ベースのサポートレッグを前にして自動車のシートに取り付けます。横向き、後ろ向きなど、本取扱説明書において指示していない向きでシートに取り付けてはいけません。



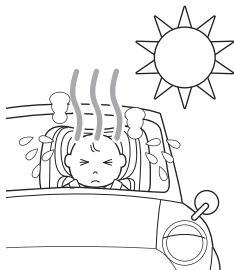
サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。



お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、お子さまを自動車の中に放置してはいけません。日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また、日差しのない時でも、チャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり、誤って自動車の操作をしたりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

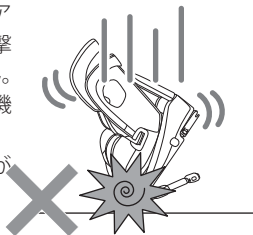


警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

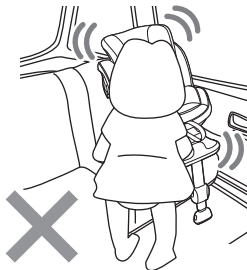
強い衝撃を受けた場合、損傷した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだ、など、一度でも強い衝撃を受けた場合は、使用してはいけません。目には見えない損傷によっても、安全に機能しなくなっている可能性があります。また、その他の事由で破損したり、部品が欠落した場合も使用しないでください。



走行前には、毎回、チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

他の乗員やお子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されたりしているおそれがあります。走行前には、毎回、チャイルドシートが自動車の座席に正しく取り付けられているかどうか、必ず確認してください。



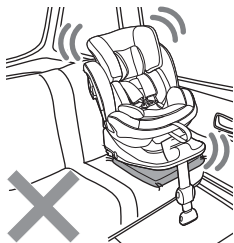
警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

本製品の下にクッションや敷物などを敷かないこと

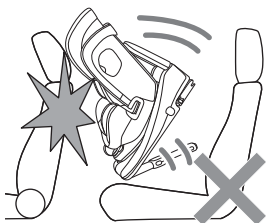
本製品と座席の間に、座布団やクッションなどの敷物を置かないこと。本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。

本製品を正しく取り付けの際に、自動車のシートにくぼみや傷が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。



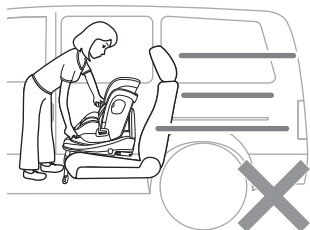
使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまが使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には、本取扱説明書の指示に従い、自動車の座席に正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



走行中は、チャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中は、本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認や、お子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態や、お子さまの固定状態に不安が生じたりした際は、速やかに自動車を安全な場所に停めてから、確認、操作を行ってください。

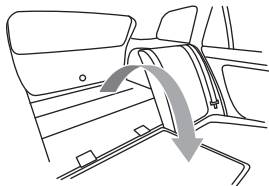


⚠ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

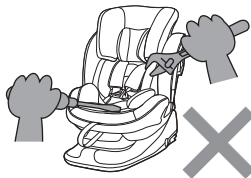
可倒式座席の場合、確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるよう、座席の背もたれを前に倒すことができる座席／トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。



チャイルドシートの分解、改造をしないこと。

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の分解、改造をしてはいけません。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。



過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷し、所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、チャイルドシートに重いものを載せたり、自動車のドアや自動車座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。本製品が損傷した場合、本製品を使用してはいけません。



警告

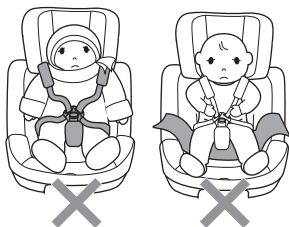
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

不適切な着衣で使用しないこと

お子さまを正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり、飛び出したりするおそれがありますので、ケープ、毛布など衣服ではないもの、サイズの大きすぎる着衣、またベビーモード、トドラーモードでの使用時には、両足が出ない（股ベルトを両足で挟めない）構造の着衣でチャイルドシートを使用しないでください。

厚みのあるダウンジャケットなど、厚着をしている場合には、お子さまが確実にチャイルドシートに固定されるよう、乳幼児ベルト等を正しく調節してください。

また、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが滑りやすくなりますので、毛布や座布団などの敷物をお子さまの下にしないください。

**部品を取り外して使用しないこと**

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シートのカバーやパッド、クッション類なども本製品を構成する重要な部品ですので、絶対に取り外して使用しないでください。

また、これらの部品を、指定外部品に交換したり、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。

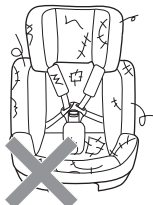
警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

中古品や劣化した本製品を使用しないこと

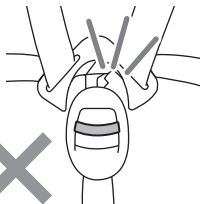
中古品は、過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため使用してはいけません。

安全のため、使用しなくなった本製品は、再利用されないよう配慮いただき、廃棄するようお願いいたします。



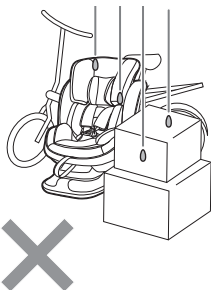
バックル、ハーネスに異常が生じた場合、本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、ハーネスに損傷がある、ハーネスを締め付けることができない場合は、ただちに使用を中止してください。



不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり、変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管した本製品を使用してはいけません。



警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

ハーネス、シートベルトの状態を適宜確認すること
 お子さまが激しく身体を動かしたり、ハーネスやバックルボタン、自動車のシートベルトや自動車バックルに触れたりすると、お子さまが正しく固定されなくなるおそれがあります。お子さまには、これらには手触れないように言い聞かせ、適宜、ハーネス、シートベルトが正しく装着されているかご確認ください。



目的外で本製品を使用しないこと

本製品は、チャイルドシートとしてのみ使用することができます。本製品は、自動車の座席に取り付けた状態でないと転倒するおそれがあります。椅子やベッドとして使用するなど、チャイルドシート以外の目的で使用すると重大な事故につながるおそれがあります。



お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

お子さまがチャイルドシートから落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

また、サポートレッグが突然開き、ケガをするおそれがありますので、本製品を持つ場合には、サポートレッグが開かないよう、サポートレッグに手を添えて持つようにしてください。

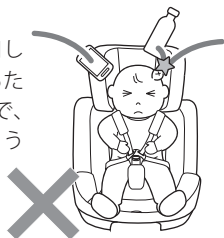


⚠ 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

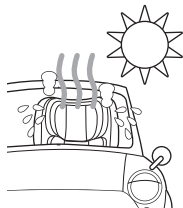
車内にある動くものは固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず、他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が、日光により過度に加熱していないか確認してから、お子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も、温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして加熱を防ぐようにしてください。



ハーネスなど、ベース以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと

本製品を持ち上げる際に、ハーネスを持ったり、ソフトパッド、生地部分を持つなどして持ち上げないでください。本製品が破損し、落下するおそれがあります。

本製品を持つ場合は、ベース部分を持つようにしてください。



⚠ 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

取り付けする場所に注意すること

ドアに挟まれない座席に取り付けてください。あらかじめ本製品を取り付けた上で挟まれたり、ぶつかったりしないことを確認してから使用するようにしてください。可動式の座席の場合は、移動しても挟まれたり、ぶつかったりしないか確認するようにしてください。

長時間連続して使用しないこと

お子さま、特に新生児期のお子さまを長時間にわたり同じ姿勢で固定すると、お子さまにストレス、疲労をあたえる可能性があります。より快適にご使用いただくため、適宜、お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。また、安全運転のためにもなりますので、最低でも1時間に1度は休憩をとるようにしてください。

長期間使用しない場合は、取り外しておくこと

通常使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにしておかないでください。

お子さまから目を離さないこと

本製品の使用中に限らず、本製品とお子さまを一緒に放置しないでください。必ず保護者の方の監視のもとにおいてください。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に、稼働部、接合部に潤滑油を使用してはいけません。本製品のお手入れは、本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



⚠ 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

トランクに保管する場合には他の物を乗せないこと

本製品や乗せた物が破損するおそれがあります。本製品を自動車のトランクに収納する場合、本製品の上に他の物を乗せないでください。

疑問点がある場合はそのままにせずにご相談ください

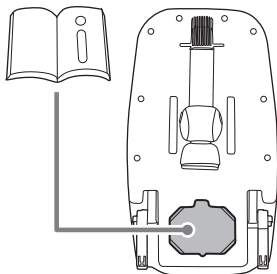
使用方法、取り付けかた、メンテナンスに関する疑問や、部品交換に関しては、お買い求めいただいた販売店か、本書巻末の保証書に記載のお客様センターまでお問い合わせください。

ISO-FIX に関わる部位、部品を常に清潔に保つようにしてください

ほこりや、よごれ、食べかすなどが付着すると、確実な固定ができなくなるおそれがあります。自動車の ISO-FIX 固定バー、本製品の ISO-FIX コネクタが汚れていないか常に点検し、必要に応じてお手入れするようにしてください。

重要！**本書は取扱説明書ホルダーに保管すること**

必要なときにいつでも参照できるよう、本書は、本体底面にある取扱説明書ホルダーに保管しておいてください。



取扱説明書ホルダー

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてずに、本製品のハーネスでお子さまを固定している場合は、バックルボタンを押し下げてハーネスを外し、自動車の3点式シートベルトでお子さまを固定している場合は、自動車バックルを操作してシートベルトを外し、速やかにお子さまを脱出させてください。

この際に、ハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。バックル、自動車バックルが機能しない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネス、またはシートベルトを切断し、お子さまを車外に脱出させてください。

お子さまがケガをした場合には、速やかに応急処置を施し、治療するようにしてください。

また、外観上はケガがない場合でも、衝撃を受けている可能性がありますので、医師の診断を受けるようにしてください。



基本的な使いかた

ここでは、本製品の基本的な操作方法を説明します。お子さまの成長、体格に合わせて調整が必要な事柄に関しては、常に正しく調整、設定してお使いください。

バックルの使いかた

ベビーモードおよび、トドラーモードでは、本製品のハーネス、バックルを使用して、本製品にお子様を固定します。

ポイント！

お子さまの体重が 15kg 以上になった場合、ハーネスは本製品内に格納して、自動車の 3 点式シートベルトでお子さまを固定して使用することもできます。

参照 P89 ▶ジュニアモードでの使いかた

危険

体重 15kg までは、ハーネスで固定すること

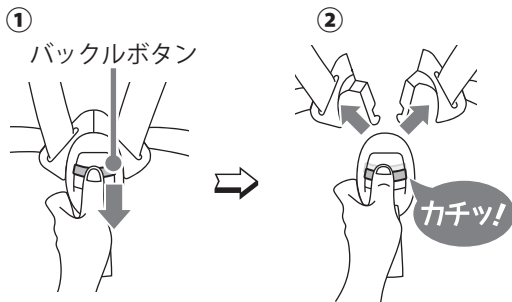
お子さまの体重が 15kg になるまでは、ハーネスを使ってお子さまを固定してください。

3 点式シートベルトでのお子さまの固定はできません。

バックルの外しかた

01

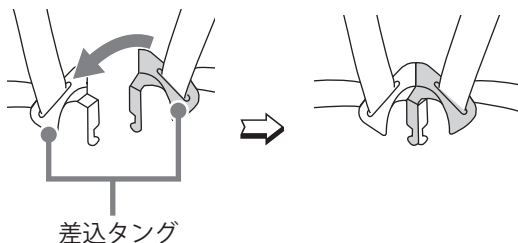
バックルを外すには、①バックルボタンを押し下げます。②「カチッ」と音がして、差込タングが外れます。



バックルの留めかた

01

左の差込タングの上に右の差込タングを重ねます。肩ベルトをねじらないようにしてください。



警告

ハーネスにねじれがないようにすること

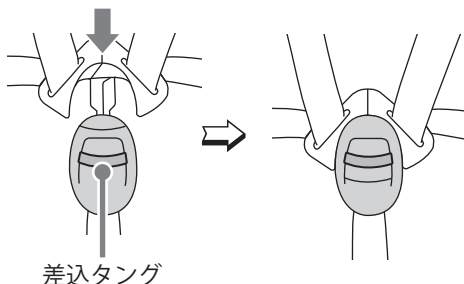
ハーネスにねじれがあると、事故や衝撃を受けた際に、お子さまがケガをするおそれがあります。

 ポイント！

差込タングは正しく重ねてから受けバックルに差し込みます。片方のみの状態では差し込むことができません。

02

そのまま、差込タングを、受けバックルに差し込みます。「カチッ」と音がするまで差し込みます。



03

軽く肩ベルトを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

 ポイント！

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないとき、保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

 危険

バックルは確実に留めて使用すること

バックルが正しく留っていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れ、お子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして、重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合は、ただちに本製品の使用を中止して、巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

注意

バックルを清潔に保つこと

バックルの中に食べかすやゴミが入らないよう、お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

ハーネスの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてハーネスの長さを調節します。

危険

肩ベルトの長さは適切に調節すること

肩ベルトは、必ず、適切な長さに調節してください。肩ベルトが締められすぎていたり、ゆるんでいたりとすると、事故や衝撃の際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

肩ベルトは左右同じ長さに調節すること

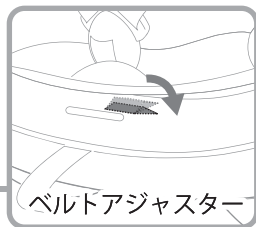
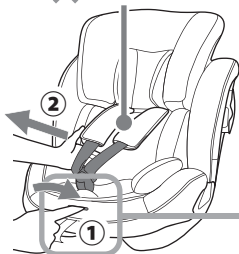
左右で肩ベルトの長さが異なると、ハーネスが所定の機能を発揮できないおそれがあります。必ず左右の肩ベルトを同じ長さに調整してください。

ゆるめかた

01

肩ベルトをゆるめるには、①シェルの前端のベルトアジャスター（穴の中にありますので外側からは目視できません）を押し込みながら、②左右の肩ベルトを束ねて持って、ゆっくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。

✕ 肩ベルトパッド



ベルトアジャスターは穴（切れ込み）の中にあります。
外側からは見えません。

締めかた

01

アジャストベルトを手前に引くと、肩ベルトが締まります。



ポイント！

お子さまを乗せて肩ベルトを締める場合、アジャストベルトはゆっくりと引くようにしてください。

ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

ヘッドレストと肩ベルトの高さ調節は連動しています。ヘッドレストの高さを調節すると、自動的に肩ベルトの高さも調節されます。

お子さまの成長に合わせて、ヘッドレストと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

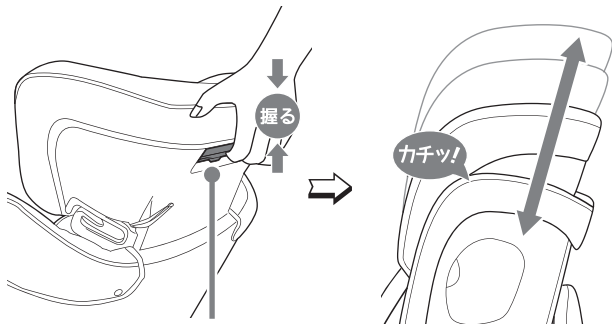
⚠ 危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、お子さまの体格、月齢に合わせ、必ず、適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどとして、重大な事故につながるおそれがあります。

01

ヘッドレストアジャストレバーを握りながらヘッドレストを上下にスライドさせて、ヘッドレストの高さを調節します。適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすと「カチッ」と音がしてヘッドレストが固定されます。ヘッドレストの高さは6段階で調節できます。



ヘッドレストアジャストレバー

 ポイント！

ヘッドレスト（肩ベルト）の適切な高さは、使用するモードによって異なります。それぞれ以下を参照してください。

参照 ベビーモードの場合 ▶ P77 ▶ 04

参照 トドラーモードの場合 ▶ P85 ▶ 04

参照 ジュニアモードの場合 ▶ P100 ▶ 02

ソフトパッド

本製品のソフトパッドには、ヘッドサポートとボディサポート、クッションがあります。

生後6カ月くらいまでのお子さまは、ヘッドサポートとボディサポート、クッションのすべてを取り付けて使用します。

お子さまの成長に合わせて調節します。P16「ソフトパッドの使用」を参照して、適切に調節してください。

参照 P16 ▶ ソフトパッドの使用

 ポイント！

ご購入時には、ヘッドサポートとボディサポート、クッションが取り付けられています。

生後6カ月までのお子さまにすぐにお使いいただけるように調節されています。

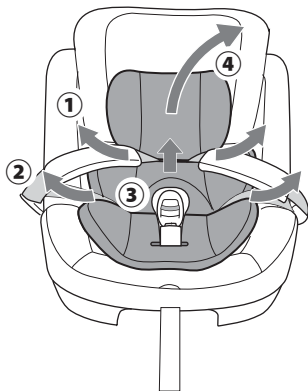
取り外し

肩ベルトが強く締められていると、ソフトパッドが取り外しにくくなります。バックルを外しても、操作しにくい場合は、以下を参照して肩ベルトをゆるめておいてください。

参照 P41 ▶ゆるめかた

01

バックルを外し、①左右の肩ベルト、②左右の腰ベルトを、ソフトパッドのすき間から外し、③股ベルトを股ベルトパッドごと通し穴から抜いて、ソフトパッドを取り外します。



警告

股ベルトパッドを取り付けて使用すること

操作中に、股ベルトパッドが外れてしまった場合は、必ず股ベルトパッドを取り付けなおしてください。

参照 P91 ▶ 03

02

バックルを留めます。

⚠ 注意

ソフトパッドを大切に保管すること

取り外したソフトパッドはなくさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

👉 ポイント！

ソフトパッドを調節して使用する場合（以下の項目で記載）も、基本的に取り付け、取り外しは同じ手順です。

取り付け

01

取り外しと逆の手順で取り付けます。

02

取り付け後は、バックルを留め、アジャストベルトを引いて、肩ベルトを締めておきます。



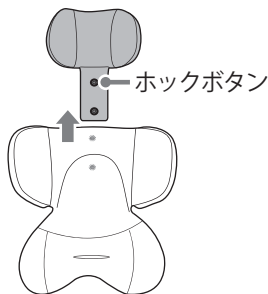
ヘッドサポート

生後6カ月以降、お子さまが成長して、頭部が窮屈になったら、ヘッドサポートを取り外します。

01

ヘッドサポートは、ボディサポートの裏側にホックボタン（2カ所）で取り付けられています。

ホックボタンを外して、ヘッドサポートを取り外してください。



02

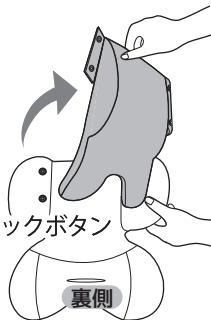
ヘッドサポートを取り付ける場合は、逆の手順で行います。

クッション

生後6カ月以降、お子さまの身体が窮屈な状態になったら、クッションを取り外して使用することができます。

01

クッションは、ボディサポートの裏側にホックボタン（4カ所）で取り付けられています。ホックボタンを外して、クッションを取り外してください。



02

ボディーサポートのみ、シェルに取り付けます。

取り付け、取り外しの方法は同様です。

参照 P16 ▶ソフトパッドの使用

参照 P43 ▶ソフトパッド

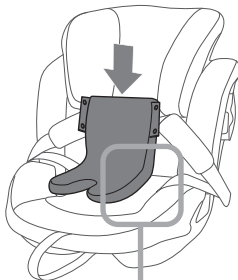
03

クッションを取り付ける場合は、逆の手順で行います。

04

クッションは、単体でも使用可能です。リクライニングの状態や、お子さまの体格などに合わせて使用ください。

クッションを使用するには、ホックボタンがある側を表に、U字部分を前にして、シェルの腰の位置にクッションの角をあわせて、乗せてください。



シートの背もたれと座面の境目の位置に
クッションの背面の角を合わせて乗せます

ISO-FIX ベースとシェルの着脱

本製品は、ISO-FIX ベースにシェルを固定して使用するようになっています。本製品を自動車の座席に取り付ける際には、先に ISO-FIX ベースを取り付けてから、使用するモードに合わせ、シェルを後ろ向きまたは前向きで ISO-FIX ベースに固定します。

取り外しかた

01

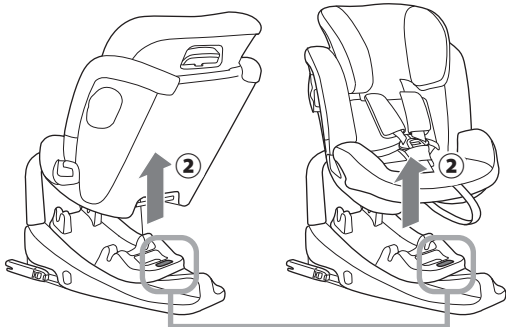
① ISO-FIX ベースのリリースボタンを押して、固定を解除し、そのままゆっくりと②シェルを持ち上げて取り外します。

持ち上げる際に、リバウンドバーを持たないようにしてください。

参照 P58 ▶ 02

後ろ向き使用時

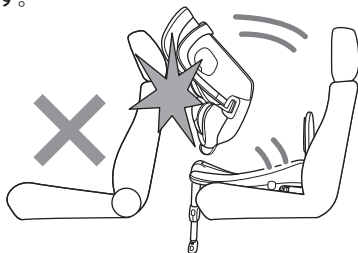
前向き使用時



警告

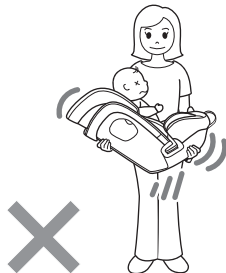
ISO-FIX ベースからシェルを取り外したら、シェルは必ず車外に出しておくこと

シェルを ISO-FIX ベースから取り外したら、そのまま車内に置いておかないでください。また、ISO-FIX ベースも同様に取り外した場合には車外に出しておきます。シェルや ISO-FIX ベースが正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品等が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

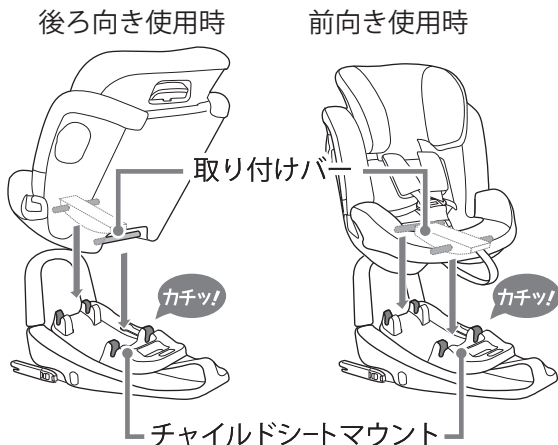
お子さまがチャイルドシートから落下したり、本製品が落下したりするなどして思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえハーネスで正しく固定されていたとしても、お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。



取り付けかた

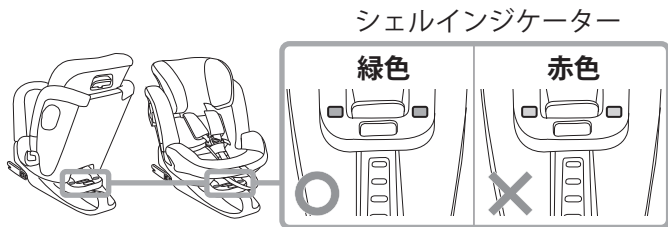
01

ISO-FIX ベースのチャイルドシートマウントに、シェルの取り付けバーの位置を合わせて本製品を乗せます。カチッと音がして固定されるまで差し込んでください。



02

ISO-FIX ベースの左右のシェルインジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。両方、またはいずれか一方でも赤色の場合には、本製品が正しく取り付けられていませんので、もう一度取り付けなおしてください。



03

軽くシェルを動かして、確実に ISO-FIX ベースに固定されている事を確認してください。

⚠ 危険

シェルインジケーターが赤色のまま使用しないこと

ISO-FIX ベースのシェルインジケーターは、ISO-FIX ベースにシェルが正しく固定されている事を確認するインジケーターです。両方の場合はもちろん 2 つのシェルインジケーターのいずれか一方でも完全に緑色になっていない場合、そのまま使用してはいけません。

リクライニングの調節

ISO-FIX ベースのリクライニングを適切に調節します。お子さまの成長、様子に合わせ、リクライニングを調節してお使いください。

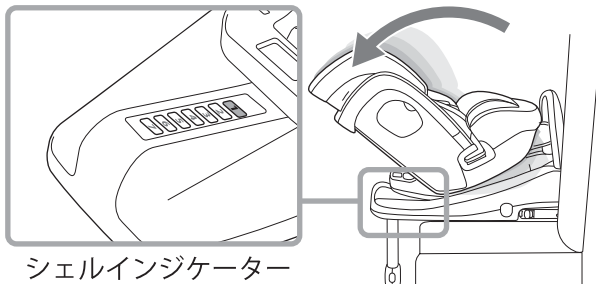
01

ISO-FIX ベースの①リクライニングレバーを握りながら、②前後に動かしてリクライニング角度を調節します。リクライニングは 7 段階で調節可能で、固定可能な位置でカチッと音がして固定されます。



02

リクライニングの状態は、シェルインジケーターに表示されます。
 お子さまの首がすわるまで（生後4か月頃まで）はリクライニングの角度は一番寝かせた状態「1」に設定します。



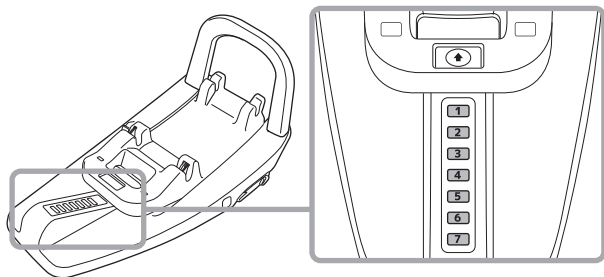
シェルインジケーター

 ポイント！

リクライニングの段階は、①～⑦の段階で、シェルインジケーターに表示されます。

後ろ向きでの取り付け時には、数字の小さい方が、より背もたれを寝かせた状態になります。

前向きでの取り付け時には、数字の大きい方が、より背もたれを寝かせた状態になります。



サイドインパクトシールドの使いかた

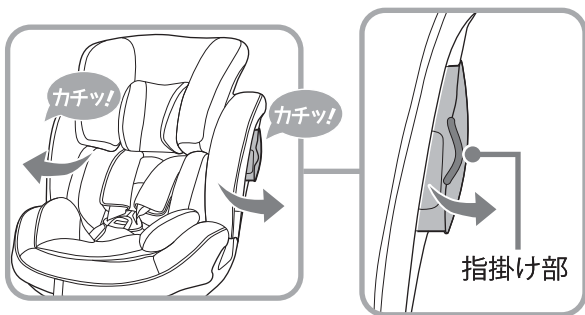
本製品のシェルには、側面方向からの衝撃を和らげるため、サイドインパクトシールドが搭載されています。使用中は、サイドインパクトシールドをお使いください。

ポイント！

サイドインパクトシールドは、シェルの左右に付いています。自動車のドア側のサイドインパクトシールドを開いて使用してください。ドアと反対側のサイドインパクトシールドは、格納しておくことができます。

01

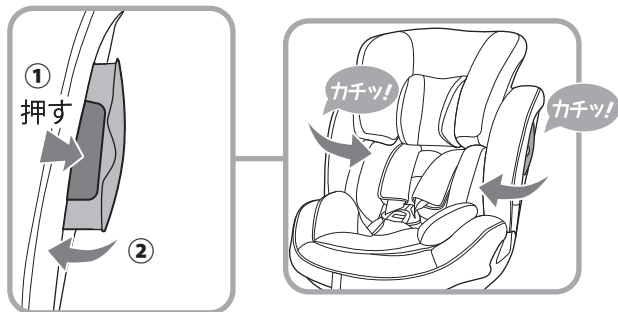
サイドインパクトシールドを、カチッと音がするまで開きます。指掛け部分に指を掛けて開いてください。



02

サイドインパクトシールドを閉じる（格納する）には、①リリースボタンを押しながら、②サイドインパクトシールドを閉じます。

リリースボタン



キャノピーの使いかた（キャノピー付タイプのみ）

「ステージス ISOFIX キャノピー付」タイプには、お子さまの日よけとして使用するキャノピーが同梱されています。

キャノピーは必要に応じて、取り付け、取り外しすることができます。

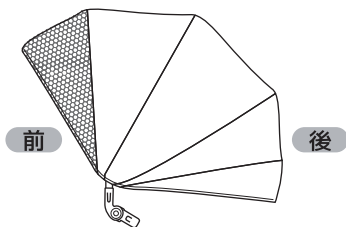
警告

キャノピーを持って本製品を持ち上げないこと

キャノピーは、本体に差し込み固定して使用します。キャノピーを持って本製品を持ち上げるとキャノピーが外れ、本体が落下します。

01

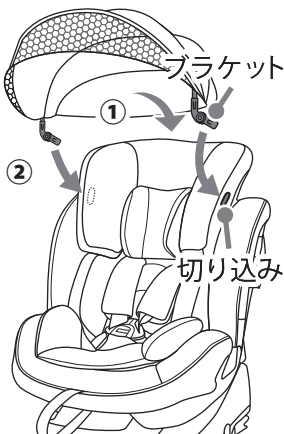
キャノピーには、前後があります。キャノピーを広げ、下図を参照して前後を確認してください。



02

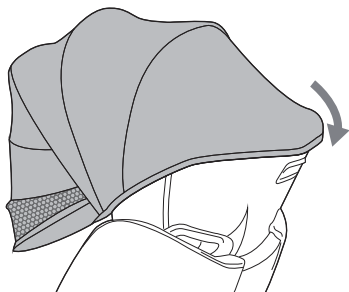
キャンピーを取り付けるには、①キャンピーの後部をヘッドレストの上部に掛けて、②ヘッドレスト左右の切り込み部分に、キャンピーのブラケットを差し入れます。

奥までしっかりと差し入れてください。



03

キャンピーの後部を、ヘッドレストに被せます。



04

キャノピーは、前後に開閉できます。日差しやお子さまの状態に応じて動かしてください。



05

キャノピーの取り外しは、取り付けと逆の手順で行います。

ISO-FIX ベースのシート（座席）への取り付けかた

いずれのモードにおいても、ISO-FIX ベースの自動車のシート（座席）への取り付けかたは同様です。

01

シェルを ISO-FIX ベースから取り外しておきます。

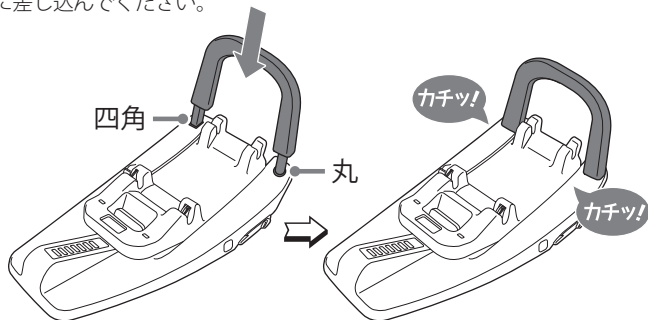
参照 P48 ▶取り外しかた

02

リバウンドバーを取り付けます。リバウンドバーには向きがあります。差し込むパイプが四角と丸になっていますので、ISO-FIX ベースの差し込み穴の形状と合わせて差し込んでください。

カチッと音がして、しっかりと固定されるまで差し込みます。

差し込みの途中でカチカチッと音がしますが、最後まで差し込む必要があります。パイプ部分が見えなくなり、引っ張っても抜けなくなるまで確実に差し込んでください。



⚠ 危険

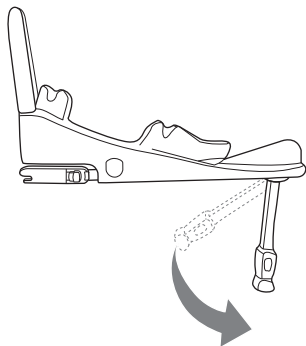
リバウンドバーを確実に固定すること

リバウンドバーが確実に固定されていないと、本製品が所定の安全性を発揮できないばかりか、リバウンドバーが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

リバウンドバーは、パイプの部分が見えなくなるまで、しっかりと差し込んでください。

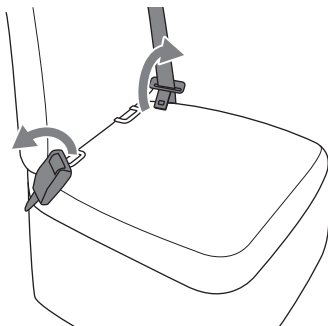
03

サポートレッグを、固定されるまで開きます。



04

自動車シートベルトは、邪魔にならないように外側に出しておきます。自動車タンクや自動車バックルの上に ISO-FIX ベースを乗せないようにしてください。

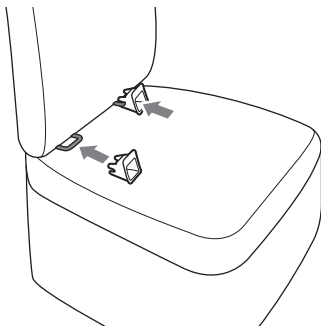


 ポイント！

ジュニアモード（グループ3）では、自動車のシートベルトを使用してお子さまを固定します。

05

ISO-FIX ガイドを、シートの ISO-FIX 固定バーに差し込みます。



ポイント！

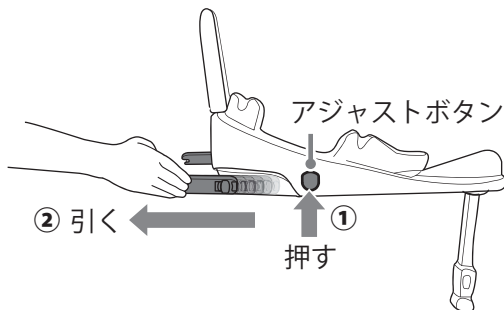
ISO-FIX 固定バーは、座面と背もたれの間の奥にあります。背もたれを押し上げるか、座面を押し下げると、ISO-FIX 固定バーが見えますので、その状態で ISO-FIX ガイドを差し込んでください。また、車種によっては、ISO-FIX 固定バーにカバーが掛けられている場合がありますので、お車の取扱説明書をご確認ください。

車種によっては、ISO-FIX ガイドを差し込めない場合があります。その場合は、ISO-FIX ガイドを差し込まずに本製品を取り付けることもできますが、ISO-FIX 固定バーの周囲の座席の生地に傷がつく場合があります。あらかじめご了承ください。

06

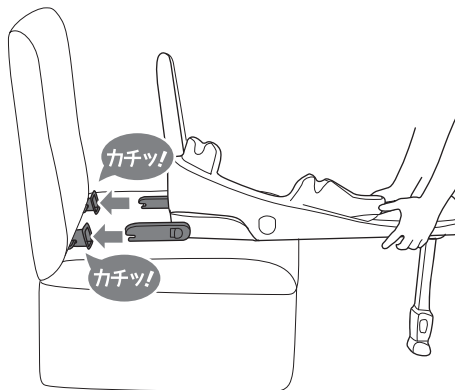
ISO-FIX ベースを、本製品を取り付けるシートの上に乗せて、①アジャストボタンを押して、② ISO-FIX コネクタを引き出します。最後まで引き出してください。

アジャストボタン、ISO-FIX コネクタは、左右連動していますので、左右のどちらか一方を操作すれば、左右とも引き出すことができます。



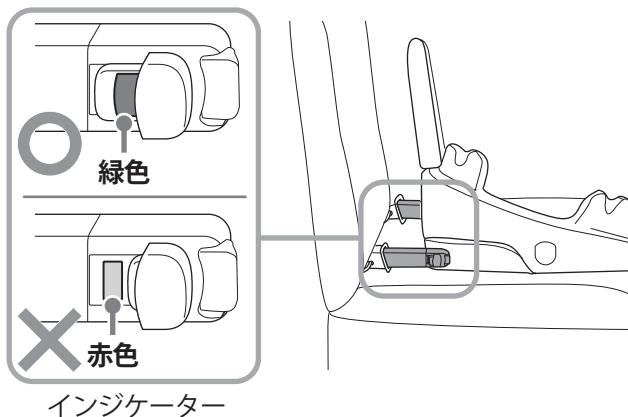
07

左右の ISO-FIX コネクターを、それぞれカチッと音がして ISO-FIX 固定バーに固定されるまで ISO-FIX ガイドに差し込んでいきます。



08

左右の ISO-FIX コネクタのインジケーターが両方とも緑色になっていることを確認します。必ず、左右両方とも確認してください。
左右いずれか一方でも緑色になっていない場合は、一度取り外してもう一度差し込み直してください。

 **ポイント！**

ISO-FIX コネクタのインジケーターを確認するため、明るい場所で作業するか、懐中電灯で照らすなどしてください。

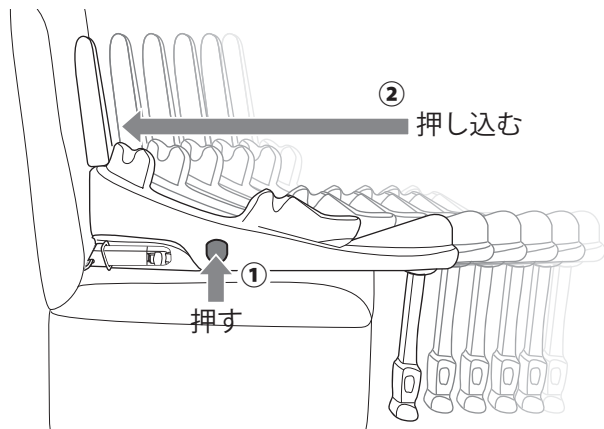
また、ISO-FIX コネクタのインジケーターが緑色になっている場合でも、念のため、しっかりと固定されているかどうか、軽く本製品を動かして確認するようにしてください。

⚠ 危険**ISO-FIX コネクタは確実に固定すること**

ISO-FIX コネクタが確実に ISO-FIX 固定バーに取り付けられていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が自動車の座席から外れ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

09

①アジャストボタンを押して、② ISO-FIX ベースをシートの背もたれ側に押し付けます。背もたれにリバウンドバーが接する程度に押し込みます。

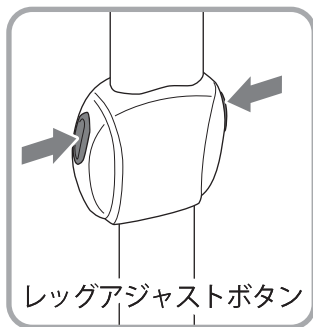
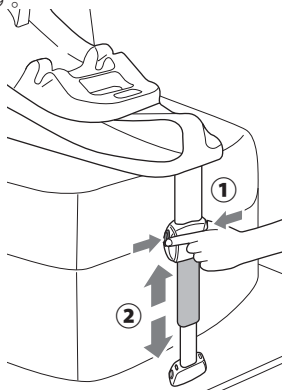
**👉 ポイント！**

ISO-FIX コネクタは、アジャストボタンを使い、長さを調節することができます。

押し付けすぎた場合は、アジャストボタンを押して、ISO-FIX ベースを手前に引いて調節してください。

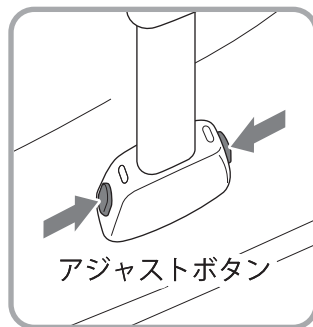
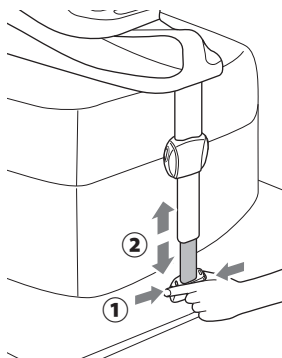
10

サポートレッグ中間の①レッグアジャストボタンをつまみながら、②サポートレッグを調節してサポートレッグの先端が床面に近づくようにします。



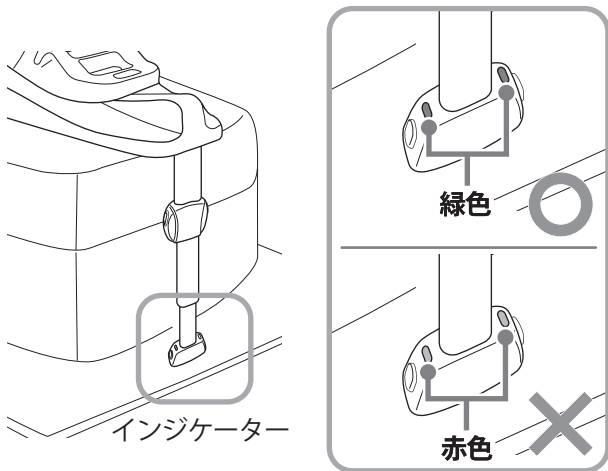
11

サポートレッグ先端の①アジャストボタンをつまみながら、②サポートレッグを微調節してサポートレッグの先端が床面に完全に接するようにします。



12

サポートレッグインジケーターが完全に緑色になっていることを確認します。サポートレッグインジケーターが左右とも完全に緑色になるよう、サポートレッグを調節してください。



⚠ 危険

サポートレッグインジケーターが左右とも完全に緑色になっていること

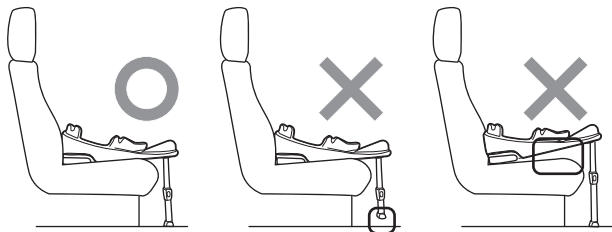
サポートレッグが正しく床面に接地すると、サポートレッグインジケーターは左右とも緑色になります。赤色の場合や赤色と緑色が両方表示されている場合は、サポートレッグが完全には接地していませんので、サポートレッグを調節して、サポートレッグインジケーターが左右とも完全に緑色になるようにしてください。

サポートレッグの下や周囲に物を置かないこと

サポートレッグは、安全上大変重要な部品です。サポートレッグは、自動車の床面に接地させますので、サポートレッグの下に物を置かないでください。また、サポートレッグが正しく機能しなくなるおそれがありますので、サポートレッグの周囲、特にサポートレッグの前に物を置かないようにしてください。

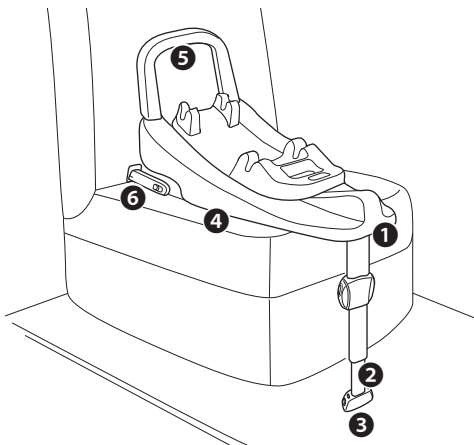
ISO-FIX ベースを自動車のシート座面から浮かせないこと

サポートレッグを調節する際に、本製品の底面が座面から浮かないようにしてください。本製品の底面が座面に、サポートレッグが床面にそれぞれ接している状態にします。



13

最後にチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば、もう一度取り付けなおしてください。



チェックリスト

- ① サポートレッグが完全に開いていること。
- ② サポートレッグの先端が床面に接し、サポートレッグインジケータが左右とも完全に緑色になっていること。
- ③ サポートレッグの接する床面が安定していること。また、サポートレッグの下、周辺に物品が置かれていないこと。
- ④ 本製品の底面が座面に接していること。
- ⑤ リバウンドバーが確実に取り付けられていて、シートの背もたれに接していること。
- ⑥ ISO-FIX コネクタが ISO-FIX 固定バーに固定され、ISO-FIX インジケータが左右とも緑色になっていること。

14

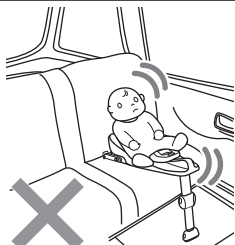
使用するモードに合わせ、シェルを調節して、所定の向きで ISO-FIX ベースに取り付けてください。

警告

ISO-FIX ベースのみで使用しないこと

本製品は、使用するモードに応じて ISO-FIX ベースに、シェルを所定の向き、所定の調節を行った上で取り付けて使用します。

ISO-FIX ベースのみでは使用することができません。また、ケガをしたり本製品が破損したりするおそれがありますので、大人の方でも、ISO-FIX ベースの上には、座らないようにしてください。



ISO-FIX ベースに本製品のシェル以外を取り付けないこと

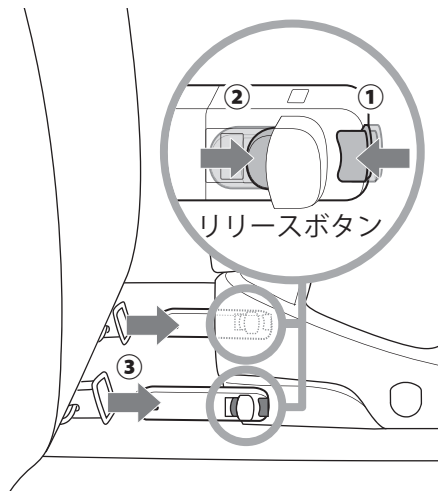
当社より別段の指示がない限りは、ISO-FIX ベースに本製品のシェル以外のチャイルドシート（シェル）、インファントシート、キャリーコット等を取り付けて使用しないでください。

取り外しかた

01

ISO-FIX コネクタはダブルロック構造になっています。左右の ISO-FIX コネクタを同時に操作してください。

①のリリースボタンを押しながら、②のリリースボタンを押してロックを解除して、③ ISO-FIX 固定バーから抜きます。

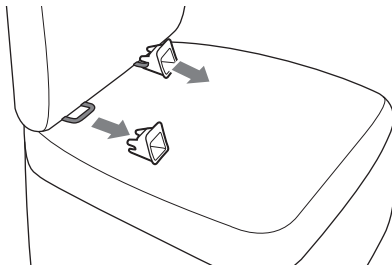


ポイント！

ISO-FIX コネクタは左右同時に操作してください。片方ずつ取り外すことはできません。

02

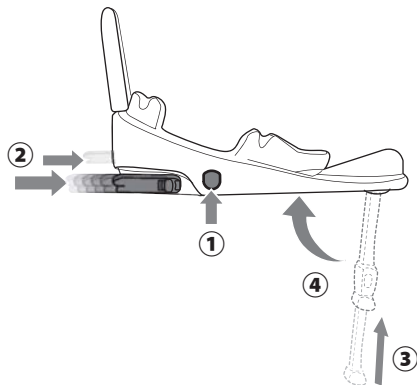
ISO-FIX ガイドを取り外します。ISO-FIX ガイドをなくさないよう、大切に保管してください。

**⚠ 注意****ISO-FIX ガイドを取り外しておくこと**

ISO-FIX ガイドが紛失、破損したり、乗員がケガをするおそれがあります。ISO-FIX ガイドは、必ず取り外した上、お子さまの手の届かない場所で、なくさないよう大切に保管してください。

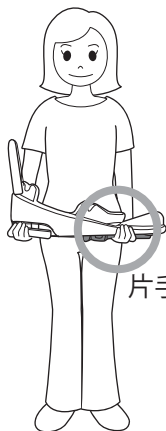
03

- ①アジャストボタンを押して、② ISO-FIX コネクタを収納します。
③サポートレッグを短く収納して、④本体側に回して、格納します。



04

サポートレッグは、本体内に格納された状態で完全には固定されませんので、サポートレッグを下から支えるようにして持ち、車外に取り出します。

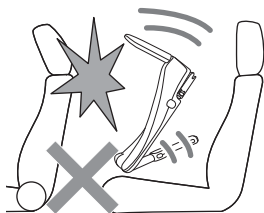


片手で支える

警告

座席から取り外したら必ず車外に出しておくこと

座席から取り外したら、そのまま車内に置いておかないでください。また、シェルも同様に取り外した場合には車外に出しておきます。ISO-FIX ベースやシェルが正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品等が移動し、運転操作の邪魔になったり、他の同乗者にあたるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。



ベビーモードでの使いかた



適応体重 ※年齢の目安	取り付けの 向き	取り付け 方法	お子さまの 固定
18kg 未満 4 歳頃まで ※年齢は目安です	後ろ向き	ISO-FIX コネクタ サポートレッグ	本製品の ハーネス
リクライニング		ソフトパッド	
① ～ ⑦ ●ただし、お子さまの首がすわる（生後 4 ヶ月頃）までは、リクライニングを最も寝かせた状態で使用すること。		●生後 6 ヶ月頃まではすべてのソフトパッドを使用すること。 ●それ以降は、お子さまの成長、体格に合わせて調節して使用してください。	

自動車のシートへの取り付け

01

ご購入時、ソフトパッドは、ベビーモードでの使用に適した状態（生後6か月頃までの使用に最適な状態）になっており、すべて取り付けられています。

取り外しするなどして、ベビーモードに適した状態でない場合は、以下を参照して、適切な状態にしてください。

参照 P16 ▶ソフトパッドの使用



生後6か月頃まではすべてのソフトパッドを取り付けて使用すること

生後6か月頃までは、すべてのソフトパッドを取り付けて使用します。その後は、お子さまの成長や体格、着衣の状態に合わせて調整して使用してください。

02

以下を参照して、ISO-FIX ベースを正しく自動車のシートに取付けます。

参照 P58~68 ▶ ISO-FIX ベースのシート（座席）への取り付けかた

03

以下を参照して、シェルを後ろ向きにして ISO-FIX ベースに正しく取り付けます。

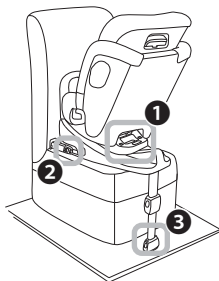
参照 P50~51 ▶取り付けかた



04

いま一度、ISO-FIX ベース、シェルの取り付けに関するインジケーターがすべて完全に緑色になっていることを確認します。

完全に緑色になっていない場合は、取り付け直してください。



インジケーター

- ① シェルインジケーター（左右 2 か所とも）
- ② ISO-FIX コネクタのインジケーター（左右 2 か所とも）
- ③ サポートレッグインジケーター（左右 2 か所とも）

警告

ISO-FIX ベースおよびシェルを正しく取り付け、固定すること

ISO-FIX ベースやシェルが正しく取り付け、固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できず、重大な事故につながるおそれがあります。本書の指示に従い ISO-FIX ベースを正しく自動車のシートに固定し、シェルを ISO-FIX ベースに正しく取り付けて固定してください。

05

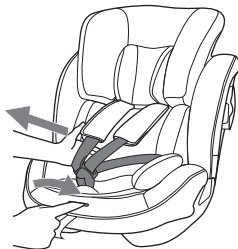
サイドインパクトシールドを開きます。

参照 P53 ▶サイドインパクトシールドの使いかた

お子さまの乗せかたと調整

01

あらかじめ、肩ベルトをゆるめておきます。

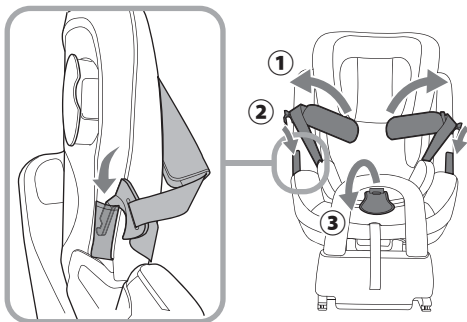


参照 P41 ▶ゆるめかた

02

お子さまが、受けバックルや差込タングの上に座らないよう、

- ①差込タングを外側に出し、
- ②差込タングを、シェル側面左右のポケットに差し込んでおきます。
- ③股ベルト（受けバックル）を前側に倒しておきます。



ポケット

03

お子さまの背筋を伸ばし、股ベルトを両足の間にに入れて、両腕を肩ベルトの間に通し、楽な姿勢にして本製品に座らせます。



浅すぎる



深すぎる



⚠ 危険

お子さまを正しい姿勢で乗せること

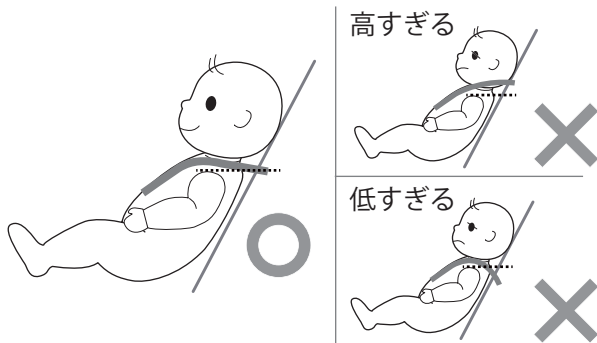
誤った姿勢で乗っていると、お子さまを正しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

04

肩ベルトの高さを調整します。

ベビーモードでは、肩ベルトの高さを、お子さまの肩の高さと同じ位置に調整してください。

参照 P42 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節



👉 ポイント！

肩ベルトの高さを調整すると、ハーネスが締まる場合があります。あらかじめハーネスをゆるめておいてください。

⚠ 危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、必ず、適切な高さに調整してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節は、お子さまの頭部に負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

05

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれないことを確認して、腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにして、カチッと音がするようにバックルを留めます。



⚠ 警告

腰ベルトは骨盤の上を通すこと

事故や衝撃を受けた際に、太ももや腹部に圧力が加わると、重大な事故につながるおそれがあります。腰ベルトは、お子さまの骨盤の上を必ず通してください。

警告

ハーネスにねじれがないようにすること

ハーネス（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）にねじれがあると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあるばかりか、お子さまに過剰な負担を掛けたり、ハーネスが外れたりするおそれがあります。

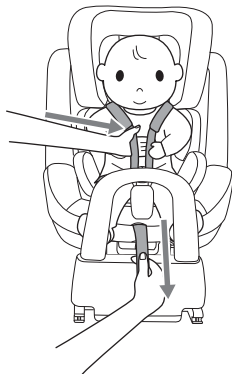
ポイント！

ハーネスがきつくてバックルが留めにくい場合、肩ベルトをゆるめてください。無理に留めようとしないでください。

参照 P41 ▶ゆるめかた

06

肩ベルトとお子さまの間（お子さまの胸の位置）に、片手の掌を平らに差し込んで、別の手でアジャストベルトをゆっくりと引っ張り、締めつけていきます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャストベルトを締めつけてください。



⚠ 危険**ハーネスは適切に締め付けること**

大人の方の掌が入る程度が正しい締め付けの状態です。

ハーネスがゆるすぎると、事故や衝撃を受けた際に、ハーネスがお子さまから外れたり、お子さまに過剰な負担が掛かるおそれがあります。

ハーネスがきつすぎると、お子さまを圧迫し、負担となります。

正しい締め付けの状態で使用するようにしてください。

⚠ 警告**アジャストベルトは慎重にゆっくりと操作すること**

ハーネスが勢いよく強く締まりすぎるおそれがありますので、アジャストベルトは、慎重にゆっくりと操作してください。

07

お子さまを降ろすには、バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

⚠ 警告**お子さまを勢いよく降ろさないこと**

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまの腕が肩ベルトから完全に抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

お子さまにバックルを触らせないこと

バックルは、お子さまの力では外しにくいようになっていますが、万が一のため、お子さまにはバックルに触れないように言い聞かせ、乗せ降ろしは大人の方が行うようにしてください。

トドラーモードでの使いかた



適応体重 ※年齢の目安	取り付けの 向き	取り付け 方法	お子さまの 固定
9kg から 18kg まで 1 歳から 4 歳頃まで	前向き	ISO-FIX コネクタ サポートレッグ	本製品の ハーネス
リクライニング		ソフトパッド	
① ~ ⑦		使用不可	

ポイント！

年齢は目安です。目安となる年齢が使用可能な範囲であっても、体重が使用できる期間に満たない、またはこれを超える場合には、使用してはいけません。

自動車のシートへの取り付け

01

以下を参照して、シェルからソフトパッドを取り外します。

参照 P44 ▶ 取り外し

02

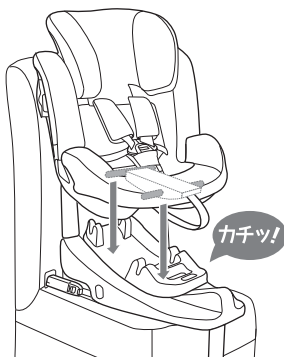
以下を参照して、ISO-FIX ベースを正しく自動車のシートに取付けます。

参照 P58~68 ▶ ISO-FIX ベースのシート（座席）への取り付けかた

03

以下を参照して、シェルを前向きにして ISO-FIX ベースに正しく取り付けます。

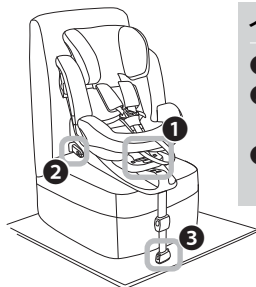
参照 P50~51 ▶取り付けかた



04

いま一度、ISO-FIX ベース、シェルの取り付けに関するインジケーターがすべて完全に緑色になっていることを確認します。

完全に緑色になっていない場合は、取り付け直してください。



インジケーター

- ① シェルインジケーター（左右 2 か所とも）
- ② ISO-FIX コネクタのインジケーター（左右 2 か所とも）
- ③ サポートレッグインジケーター（左右 2 か所とも）

⚠ 警告

ISO-FIX ベースおよびシェルを正しく取り付け、固定すること

ISO-FIX ベースやシェルが正しく取り付け、固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できず、重大な事故につながるおそれがあります。本書の指示に従い ISO-FIX ベースを正しく自動車のシートに固定し、シェルを ISO-FIX ベースに正しく取り付けて固定してください。

05

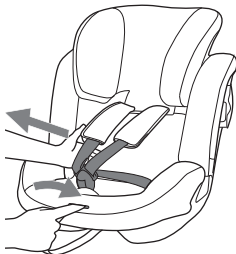
サイドインパクトシールドを開きます。

参照 P53 ▶サイドインパクトシールドの使いかた

お子さまの乗せかたと調整

01

あらかじめ、肩ベルトをゆるめておきます。



参照 P41 ▶ゆるめかた

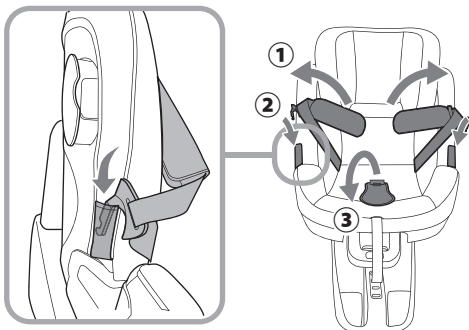
ポイント！

ソフトパッドは使用できません。取り外されていることを確認してください。

02

お子さまが、受けバックルや差込タングの上に座らないよう、

- ①差込タングを外側に出し、
- ②差込タングを、シェル側面左右のポケットに差し込んでおきます。
- ③股ベルト（受けバックル）を前側に倒しておきます。



ポケット

03

お子さまの背筋を伸ばし、股ベルトを両足の間にに入れて、両腕を肩ベルトの間に通し、楽な姿勢にして本製品に座らせます。



⚠ 危険

お子さまを正しい姿勢で乗せること

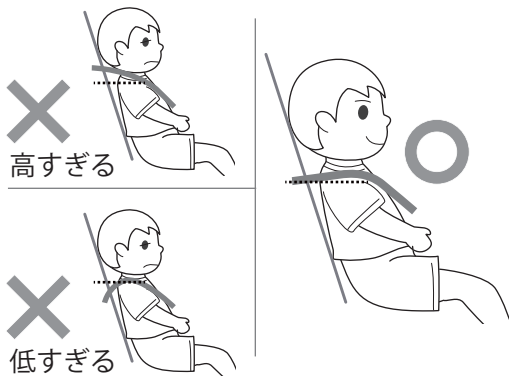
誤った姿勢で乗っていると、お子さまを正しく固定できず、事故や急制動の際にお子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

04

肩ベルトの高さを調整します。

トドラーモードでは、肩ベルトの高さを、お子さまの肩の高さと同じ位置に調整してください。

参照 P42 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節



👉 ポイント！

肩ベルトの高さを調整すると、ハーネスが締まる場合があります。あらかじめハーネスをゆるめておいてください。

⚠ 危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは、必ず、適切な高さに調整してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際に、お子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして、重大な事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節は、お子さまの頭部に負担がかからないよう、やさしく、ゆっくりと操作してください。

05

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれないことを確認して、腰ベルトをお子さまの骨盤の上を通すようにして、カチッと音がするようにバックルを留めます。



⚠ 警告

腰ベルトは骨盤の上を通すこと

事故や衝撃を受けた際に、太ももや腹部に圧力が加わると、重大な事故につながるおそれがあります。腰ベルトは、お子さまの骨盤の上を必ず通してください。

⚠ 警告

ハーネスにねじれがないようにすること

ハーネス（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）にねじれがあると、事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できないおそれがあるばかりか、お子さまに過剰な負担を掛けたり、ハーネスが外れたりするおそれがあります。

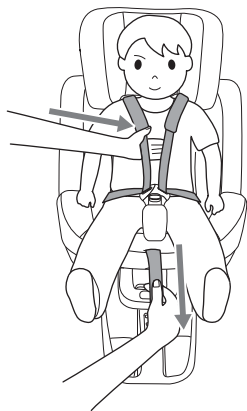
👉 ポイント！

ハーネスがきつくてバックルが留めにくい場合、肩ベルトをゆるめてください。無理に留めようとししないでください。

参照 P41 ▶ゆるめかた

06

肩ベルトとお子さまの間（お子さまの胸の位置）に、片手の掌を平らに差し込んで、別の手でアジャストベルトをゆっくりと引っ張り、締めつけていきます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで、アジャストベルトを締めつけてください。



⚠ 危険**ハーネスは適切に締め付けること**

大人の方の掌が入る程度が正しい締め付けの状態です。

ハーネスがゆるすぎると、事故や衝撃を受けた際に、ハーネスがお子さまから外れたり、お子さまに過剰な負担が掛かるおそれがあります。ハーネスがきつすぎると、お子さまを圧迫し、負担となります。正しい締め付けの状態で使用するようにしてください。

⚠ 警告**アジャストベルトは慎重にゆっくりと操作すること**

ハーネスが勢いよく強く締めまりすぎるとおそれがありますので、アジャストベルトは、慎重にゆっくりと操作してください。

07

お子さまを降ろすには、バックルを外して、お子さまの腕を肩ベルトから抜き、ゆっくりとお子さまを降ろしてください。

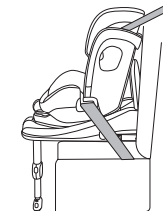
⚠ 警告**お子さまを勢いよく降ろさないこと**

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまの腕が肩ベルトから完全に抜けていない場合など、重大な事故につながるおそれがあります。肩ベルトに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

お子さまにバックルを触らせないこと

バックルは、お子さまの力では外しにくいようになっていますが、万が一のため、お子さまにはバックルに触れないように言い聞かせ、乗せ降ろしは大人の方が行うようにしてください。

ジュニアモードでの使いかた



適応体重 ※年齢の目安	取り付けの 向き	取り付け 方法	お子さまの 固定
15kg から 25kg まで 3 歳から 7 歳頃まで	前向き	ISO-FIX コネクタ サポートレッグ	自動車の 3 点式シートベルト
リクライニング		ソフトパッド	
① ~ ⑦		使用不可	

ポイント！

年齢は目安です。目安となる年齢が使用可能な範囲であっても、体重が使用できる期間に満たない、またはこれを超える場合には、使用してはいけません。

警告
体重 15kg までは、ハーネスで固定すること

お子さまの体重が 15kg になるまでは、ハーネスを使ってお子さまを固定してください。

3 点式シートベルトでのお子さまの固定はできません（ジュニアモードでは使用できません）。

ハーネスの格納と取り付け

このモードでは、本製品のハーネスは使用せず、自動車の3点式シートベルトでお子さまを固定します。

このため、ハーネスを本製品の内部にあらかじめ格納しておきます。

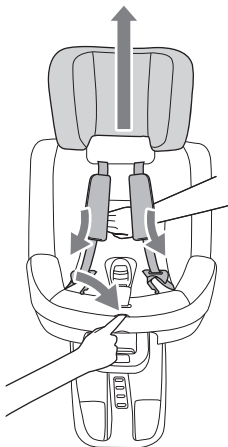
01

ソフトパッドが取り付けられている場合は、以下を参照して、シェルからソフトパッドを取り外します。

参照 P44 ▶取り外し

02

ハーネスをゆるめ、ヘッドレストを最も高い位置に上げておきます。
バックルを外します。

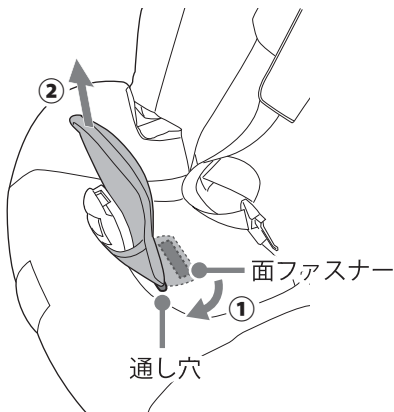


参照 P41 ▶ゆるめかた

参照 P42 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

03

股ベルトパッドを抜き取ります。股ベルトパッドは、シェルのシートカバーの内側で面ファスナーで留められています。通し穴の中の①面ファスナーを外し、②股ベルトから、抜き取ります。

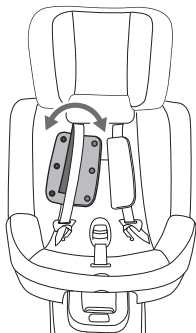
**⚠ 注意**

股ベルトパッドを大切に保管すること

取り外した股ベルトパッドはなくさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

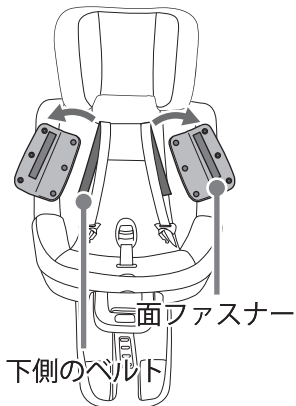
04

肩ベルトパッドのホック(3か所)を外します。左右とも外してください。



05

肩ベルトパッドは、下側のベルトに面ファスナーで留められています。面ファスナーを外して、肩ベルトパッドを左右とも取り外してください。



⚠ 注意

肩ベルトパッドを大切に保管すること

取り外した肩ベルトパッドはなくさないよう、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

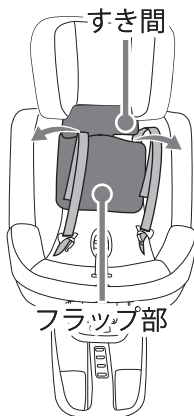
👉 ポイント！

肩ベルトパッドには向きがあります。取り付ける場合は、以下を参照して正しい向きに取り付けてください。

参照 P112 ▶ 07

06

左右の肩ベルトをヘッドレストのフラップ部のすき間から外側に外します。



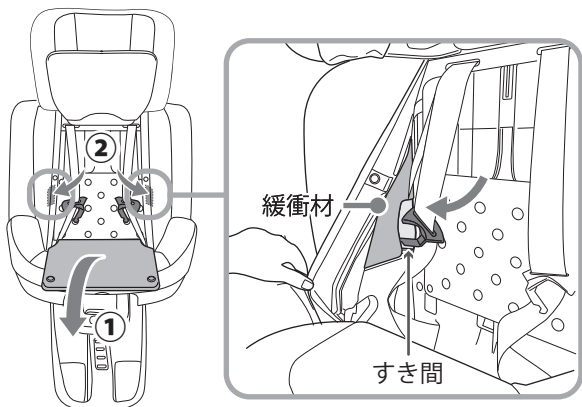
07

ヘッドレストのフラップ部をめくり、背もたれで留めてあるシェル下部のシートカバーのホックを外します。左右とも外してください。



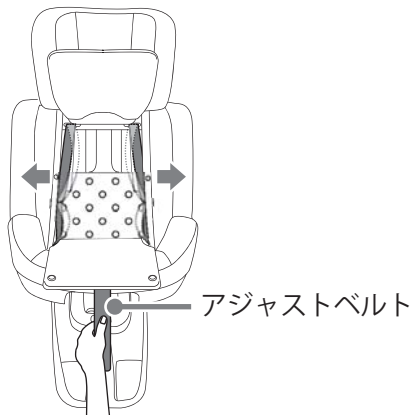
08

①シェル下部のシートカバーを前に倒して、②左右の差込バックルを、それぞれシェル左右の緩衝材のすき間部分に収納します。



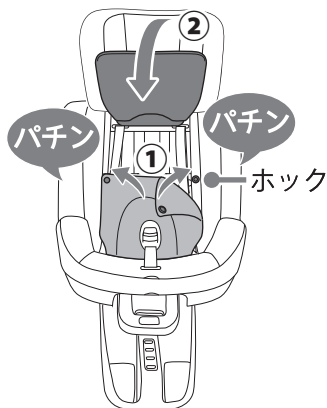
09

アジャストベルトを引いて、ハーネスのたるみをなくしておきます。



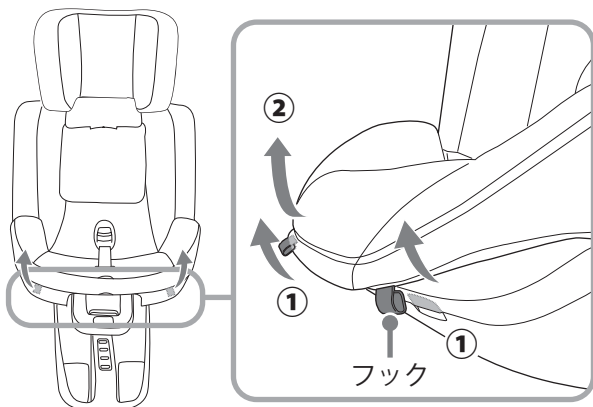
10

①下部のシートカバーを起こして、左右のホックを留めて、②ヘッドレストのフラップ部を戻します。



11

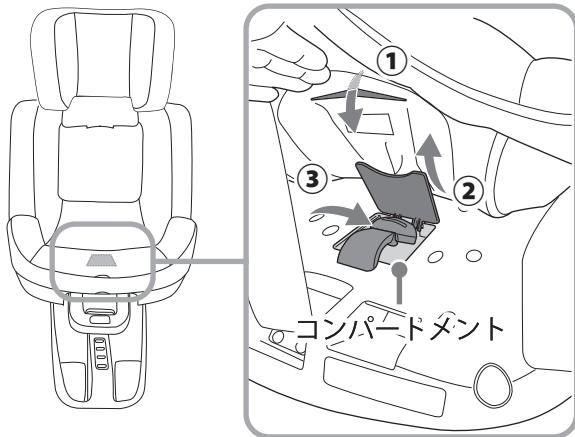
①シートカバーの前端の左右2か所のフックをシェルから外して、②シートのカバー前端をめくりあげます。



12

受けバックルを、シェルの座部にあるコンパートメントに格納します。

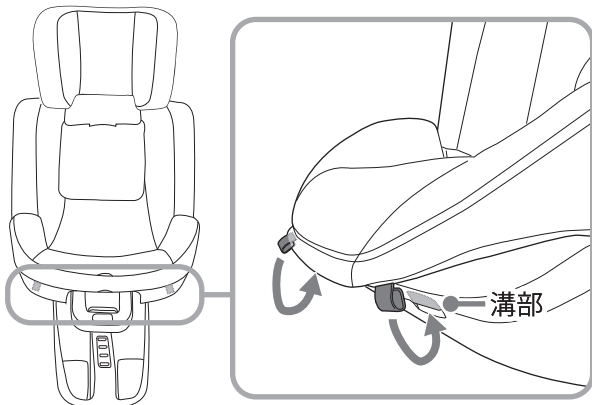
①シートカバーの通し穴から、受けバックル（股ベルト）を抜き、②コンパートメントの蓋を開け、③受けバックルを格納して、蓋を閉じます。

 **ポイント！**

コンパートメントの蓋は、閉じた状態で固定されませんが、そのままシートのカバーを被せなおしてください。

13

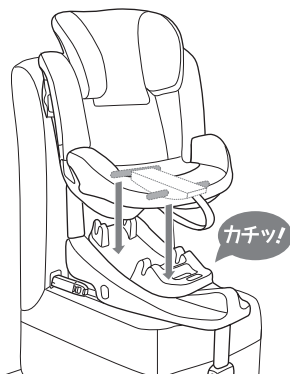
シートカバーの前端の左右2か所のフックをシェルの溝部に固定して、シートのカバーを取り付けます。



14

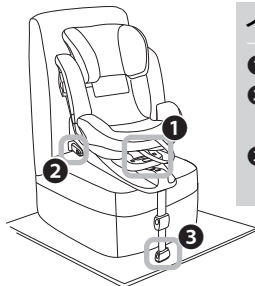
以下を参照して、シェルを前向きにして ISO-FIX ベースに正しく取り付けます。

参照 P50~51 ▶取り付けかた



15

いま一度、ISO-FIX ベース、シェルの取り付けに関するインジケーターがすべて完全に緑色になっていることを確認します。
完全に緑色になっていない場合は、取り付け直してください。



インジケーター

- ① シェルインジケーター（左右 2 か所とも）
- ② ISO-FIX コネクタのインジケーター（左右 2 か所とも）
- ③ サポートレッグインジケーター（左右 2 か所とも）

⚠ 警告

ISO-FIX ベースおよびシェルの正しく取り付け、固定すること

ISO-FIX ベースやシェルが正しく取り付け、固定されていないと、事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全性能を発揮できず、重大な事故につながるおそれがあります。本書の指示に従い ISO-FIX ベースを正しく自動車のシートに固定し、シェルの ISO-FIX ベースに正しく取り付けて固定してください。

17

サイドインパクトシールドを開きます。

参照 P53 ▶サイドインパクトシールドの使いかた

👉 ポイント！

ソフトパッドは使用できません。取り外されていることを確認してください。

お子さまの乗せかたと調整

01

お子さまの背筋を伸ばし、楽な姿勢にして本製品に座らせます。腰を深くして、本製品の中央に座らせてください。

⚠ 危険

シートベルトだけで使用しないこと

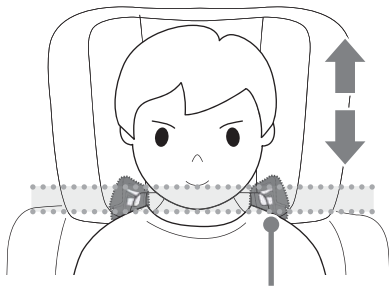
ジュニアモードでは、自動車の3点式シートベルトを使用しますが、シートベルトのみで使用することはできません。

必ず、ISO-FIX ベースやシェルを本書の指示に従い正しく固定した上で、使用してください。



02

ヘッドレストの高さ調節をします。肩ベルトガイドの高さをお子さまの肩の位置と同じ高さから丁度上の位置の高さの間で調節してください。



肩ベルトガイド

参照 P42 ▶ヘッドレスト・肩ベルトの高さ調節

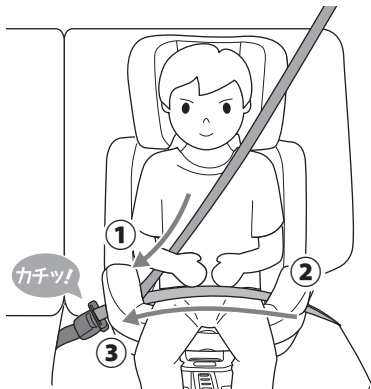


ヘッドレストを適切な高さに調節すること

本製品では、ヘッドレストの高さを調節することにより、自動車の3点式シートベルトの肩ベルトの高さを調節します。適切な高さになっていないと、事故や衝撃を受けたときに首や頭部に過剰な衝撃が加わったり、シートベルトが外れたりするおそれがあります。

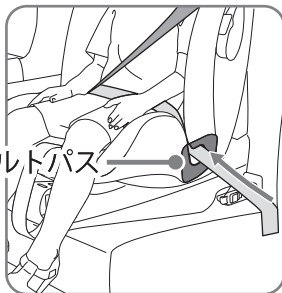
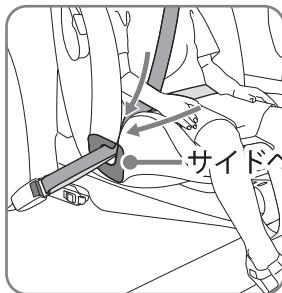
03

ねじらないように注意して、①自動車バックル側のサイドベルトパスに自動車肩ベルトと自動車腰ベルトを通し、②自動車のドア側のサイドベルトパスに自動車腰ベルトを通して、③自動車バックルを留めます。



自動車バックル側

自動車のドア側

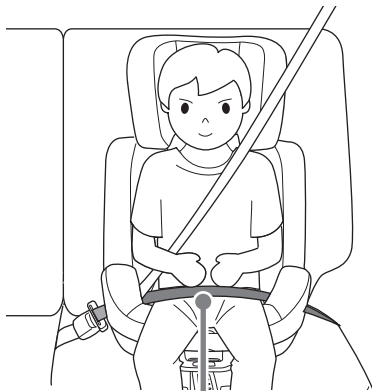


自動車肩ベルト、腰ベルト
をサイドベルトパスに通す

自動車腰ベルトを
サイドベルトパスに通す

04

自動車腰ベルトが、お子さまの骨盤の上を通るように調整してください。



骨盤の上を通す

警告

自動車バックルに手を触れないよう言い聞かせること

自動車バックルが外れると事故につながるおそれがあります。普段から自動車バックルに手を触れないように言い聞かせるようにしてください。

自動車腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通るようにしておくこと

事故や衝撃を受けた際に、お子さまの腹部が圧迫されたり、大腿部に過剰な衝撃が加わるおそれがありますので、ハーネスの腰ベルトは、必ずお子さまの骨盤の上を通るように調整してください。

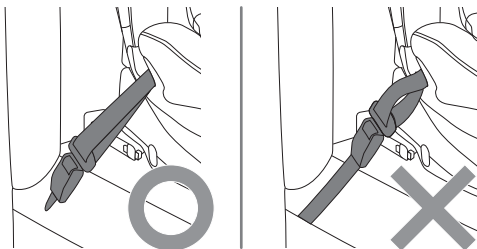
05

自動車腰ベルトが、簡単にずれたりしないことを確認してください。

⚠ 警告

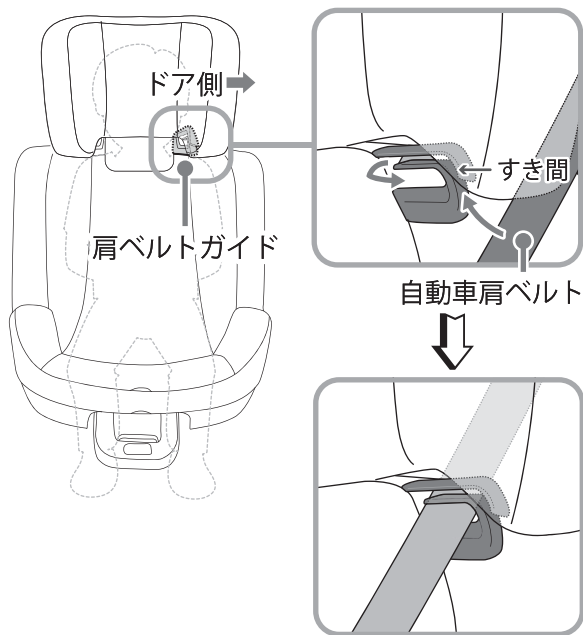
シートベルトの自動車バックル（受けバックル）が長すぎる場合、そのシート（座席）では使用しないこと

シートベルトの自動車バックル（受けバックル）が長すぎると、本製品が安定せず、また、自動車腰ベルトがお子さまの身体に密着しないなどして、事故や衝撃を受けた際に、お子さまの身体に大きな負荷がかかるおそれがあります。



06

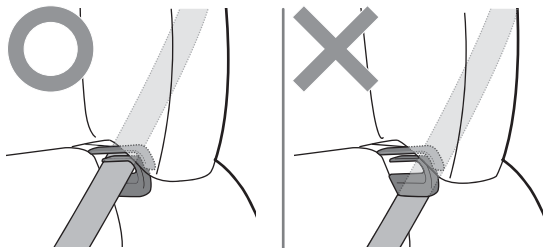
自動車肩ベルトを、自動車のドア側の肩ベルトガイドに通します。
肩ベルトガイドのすき間に自動車肩ベルトを差し入れて通してください。
自動車肩ベルトをねじらないように注意して、下図を参照して通してください。



警告

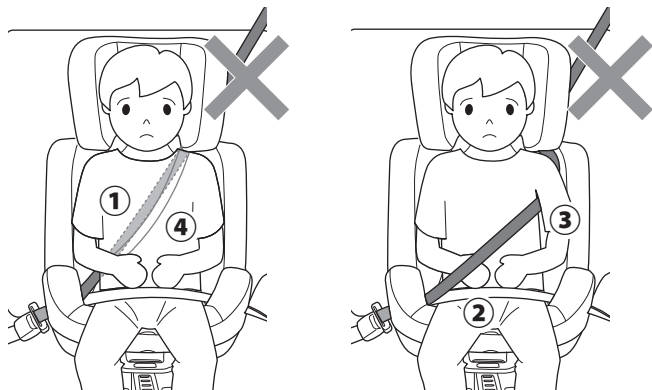
肩ベルトガイドに正しく自動車肩ベルトを通すこと

自動車肩ベルトを、肩ベルトガイドの下に通したり、肩ベルトガイド以外の場所に通したりしないでください。



警告**シートベルトを正しく使用すること**

事故や衝撃を受けた際に、本製品が所定の安全機能を発揮できなくなりますので、自動車肩ベルトを、お子さまの背中側に通したり、お子さまの腕の上に通したり、お子さまの腕の下側から出したり、シートベルトをゆるめた状態で使用したりしないでください。



- ①自動車肩ベルトがお子さまの背中側を通っている
- ②自動車肩ベルトの下にお子さまの腕が通っている
- ③お子さまの腕の下側から自動車肩ベルトが出ている
- ④自動車肩ベルトがゆるい

07

お子さまを降ろすには、3点式シートベルトを外して降ろします。

 ポイント！

お子さまが自分で乗り降りできるようになってからも、大人の監視のもとで乗り降りさせるようにしてください。

お手入れのしかた

本製品では、お手入れのため、シェルのシートのカバー、パッド類を取り外すことができます。

お手入れ後は、取り外したカバー、パッド類を必ず元に戻してください。

 警告**部品を取り外した状態で使用しないこと**

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シェルのシートのカバーや、クッション類なども本製品を構成する重要な部品ですので、絶対に取り外して使用しないでください。また、これらの部品を、指定外部品に交換したり、同梱されていないアクセサリや部品を取り付けて使用しないでください。

カバー類を外した状態の本製品は、お子さまの手の届かない場所に置いておくこと

お子さまが本製品の機構部に手や指を差し入れてケガをするおそれがあります。

お手入れ等のため、カバー類を外したら、取り付け直すまでの間は、お子さまの手の届かない場所で保管するようにしてください。

パッド・カバー類の取り外し



ポイント！

自動車の座席に取り付けたままでは、作業はできません。

⚠ 注意

ゆっくりと作業すること

パッド、カバーなどが引っかかった感じがする場合、無理をせず、引っかかった場所がないか確認するようにしてください。

また、カバーの下にある衝撃吸収材やウレタン等に傷をつけないように注意してください。

01

シェルを ISO-FIX ベースから取り外します。

参照 P48 ▶取り外しかた

02

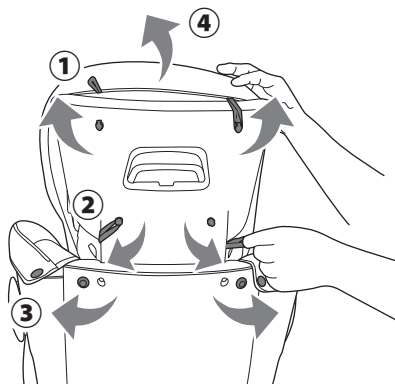
以下の操作を行います。

ソフトパッド、股ベルトパッド、肩ベルトパッドを取り外します。

P90~94：ハーネスの格納と取り付け ▶ 01~08 まで

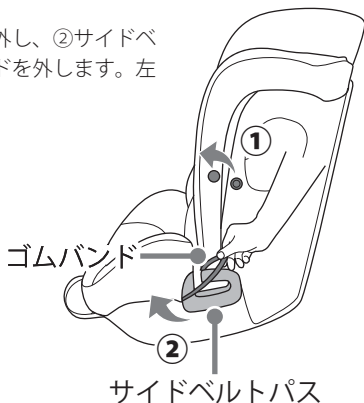
03

- ①ヘッドレスト上部の左右2か所、②ヘッドレスト下部の左右2か所で留めている、カバーのゴムバンドを外します（合計4か所）。
- ③シェルの上部背面の左右2か所のホックを外します。
- ④ヘッドレストのカバーを、ゆっくりと前方向に取り外します。



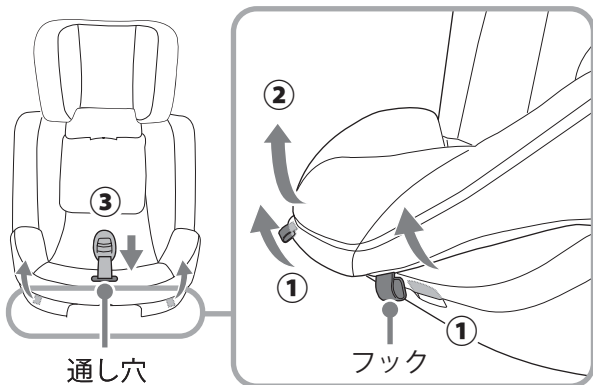
04

- ①シェル側面のホックボタンを外し、②サイドベルトパスに掛けてあるゴムバンドを外します。左右とも同じようにしてください。



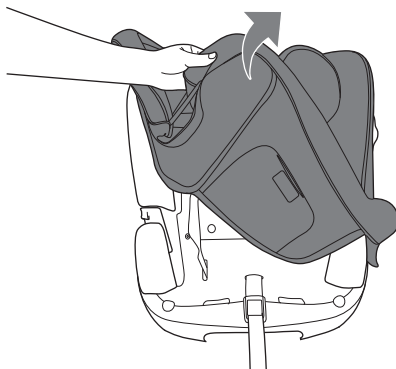
05

①シートカバーの前端の左右2か所のフックをシェルから外して、②シートのカバー前端をめくり、③受けバックルをカバーの通し穴から抜きます。



06

シートカバーをめくり、シェルから取り外します。



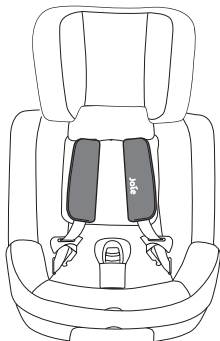
07

取り付けは逆の手順で行ってください。

 ポイント！

肩ベルトパッドには向きがあります。

下図を参照して、向きを間違わないように取り付けてください。



パッド・カバー類のお手入れ

取り外した、パッド、カバー類は、以下に従ってお手入れしてください。

 ポイント！

お手入れにより、色落ち、ゆがみ、多少の縮みが発生することがあります。あらかじめご了承ください。

 注意**指定外の方法で洗濯しないこと**

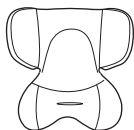
指定外の方法でソフトパッド、カバー、パッド類を洗うと、破損、破れ、型崩れしたり、縮んだりするおそれがあります。

01

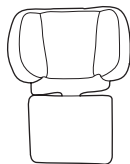
以下のパッド、カバー類が洗濯できます。
30℃以下の水で手洗いしてください。
軽く絞って、形を整え、陰干ししてください。



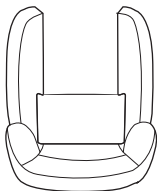
ヘッドサポート



ボディサポート



ヘッドレストのカバー



シート (シェル) のカバー



股ベルトパッド



肩ベルトパッド

ポイント！

汚れがひどい場合には、薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合、水でよくすすぎ、洗剤を完全に落としてください。

注意

クッションは洗濯できません

ソフトパッドのクッション（ボディーサポートの裏側）は洗濯できません。ブラシや、水で濡らしてよく絞った布でお手入れしてください。



クッション

⚠ 注意**洗濯機の使用は避けてください**

洗濯機の使用は破損、変形の原因となります。また、重量の偏りにより、洗濯機が故障するおそれがあります。

アイロンは使用しないでください

破損、縮みの原因となります。

タンブラー乾燥はしないでください

破損、縮みの原因となります。
乾燥機は使用しないでください。

有機溶剤を使用しないでください

ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。変質、破損のおそれがあります。

漂白剤は使用できません

劣化を早め、変退色の原因となります。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形の原因となります。

ドライクリーニングをしないでください

破損、劣化、縮みの原因となります。

樹脂・金属のお手入れ**⚠ 注意****潤滑剤を絶対に使用しないこと**

シリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤、潤滑効果のある物質を絶対に使用しないでください。

潤滑剤が付着すると、本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。

樹脂部分

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

注意

ウエットタオル（ウエットティッシュ）は使用しないこと
洗剤類、市販のウエットタオル（ウエットティッシュ）、赤ちゃんのお尻ふきは使用しないでください。
含まれる成分によっては、樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

金属部分

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。

バックル、ISO-FIX コネクタ、ISO-FIX ベースのチャイルドシートマウント、シェルの取り付けバーを除く金属部分に関して、食べかすなど油分を含む汚れを落とす場合には、薄めた中性洗剤を溶かした水につけ、良く絞った柔らかいタオルで汚れをふき取るようにしてお手入れしてください。中性洗剤を使用した場合、お手入れ後は洗剤をよくふき取ってください。

注意

水を直接かけないでください
サビが発生し、本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。
水分を使用してお手入れした場合は、しっかりと乾燥させてください。

ISO-FIX コネクタ・ISO-FIX ベースのチャイルドシートマウント・シェルの取り付けバーのお手入れ

表面の汚れは、お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。内部や、手の届かない場所のお手入れは、市販のエアダスターを使用するか、掃除機を使用してゴミやほこりを吸い取るようにしてください。

ポイント！

ISO-FIX コネクタ、ISO-FIX ベースのチャイルドシートマウント、シェルの取り付けバーおよび自動車の ISO-FIX 固定バーは常に清潔を保つようにしてください。

危険

絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないこと

これらのお手入れに、潤滑剤、潤滑性のある物質が付着すると、大変に危険です。絶対に使用しないでください。

ハーネス・バックル・キャノピーのお手入れ

⚠危険

絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないこと

バックルが正しく機能しなくなるおそれがありますので、差込タング、受けバックルのお手入れには、絶対に洗剤類や潤滑剤を使用しないでください。なにも混ぜていない水かお湯を使ってお手入れしてください。含まれる成分によっては、樹脂部分の劣化、変質の原因となりますので、市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは使用しないでください。

バックルに異常がある場合は直ちに使用を中止すること

正しく差込タングを受けバックルに差ししても「カチッ」と音がしない、バックルボタンが動かないなど、バックルに異常を発見した場合はただちに本製品の使用を中止して、本取扱説明書末尾に記載の弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

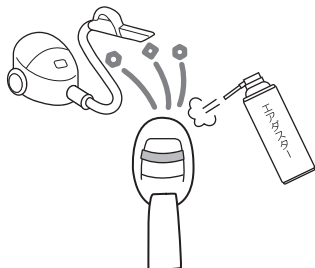
ハーネス

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

バックル

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

受けバックルの内側は、ご家庭の掃除機でゴミやほこりを吸い取るか、市販のエアダスターで中のゴミ、ほこりを吹き飛ばすようにしてください。



キャノピー（キャノピー付タイプのみ）

お湯または水につけて、きつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

お手入れ後は、キャノピーを広げて完全に乾燥させてからたたむようにしてください。

保管のしかた

長期間で使用にならない場合は、自動車から取り外しておいてください。

ほこりがバックル内に入らないよう、保管時もバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のあたる露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、お住まいの自治体の指示に従い、正しく廃棄するようにしてください。

また、再利用による事故を防ぐため「廃棄品・使用不可」と明示し、シートを破るなどして、再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

Joie